

岩手県薬剤師会誌

イハートブ

第94号
2022

巻頭言・寄稿・会務報告・理事会報告・委員会の動き・
部会の動き・地域薬剤師会の動き・薬連だより・
質問に答えて・話題のひろば・リレーエッセイ・職場紹介・
会員の動き・保険薬局の動き・求人情報



編集・発行／一般社団法人岩手県薬剤師会 令和4年11月30日



岩手県医薬品卸業協会

株式会社スズケン岩手

〒020-0125 岩手県盛岡市上堂4-5-1

☎019(641)3311

東邦薬品株式会社岩手営業部

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-7-15

☎019(646)7130

東北アルフレッサ株式会社岩手営業部

〒020-0846 岩手県盛岡市流通センター北1-4-7

☎019(637)3333

株式会社バイタルネット岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-1-12

☎019(638)8891

株式会社メディセオ北海道・東北支社岩手営業部

〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋第5地割6-26

☎0198(26)0552



新型コロナ禍での子供達

(一社) 岩手県薬剤師会

副会長 畑澤 昌美

昼頃に小学校を訪問すると、以前に比べてとても静かに感じます。給食時間は黙食が当たり前となっていて、子供たちは前を向いて静かに食べています。私の子供の頃のワイワイおしゃべりしながらの給食時間は無くなっています。私の経験した時代とは大きく異なり比較はできません。もちろん幼稚園や保育園での食事時間も同様で、既にそれが当たり前になっています。孫が来年小学校へ入学予定ですが、自宅で会話しながら会食していると孫に注意される始末です。また、学校でのICT化が進み、プロジェクターやノートパソコン、タブレットなどを使用した授業が普通に行われています。教壇の前にノートパソコンを設置し、先生や黒板を写して別の教室にいる生徒と会話しながらの授業も行われています。

文部科学省から学校運営の指針が示され、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」に沿った学校の衛生管理が行われ、現在の学校環境衛生基準が当てはまらない事例が出て、状況に応じた学校薬剤師の判断による指導助言も、今まで以上に求められています。

先日、盛岡で開催された「令和4年度全国学校保健・安全研究大会」で、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 特任教授 富永良喜先生の記念講演を聴講させていただき、ご講演の中でコロナ禍の子供のストレスと中傷防止心のサポート授業に関して、新型コロナウイルス感染症は、自分の親・祖父母が感染して重症になり死ぬのではとの不安や恐怖を巻き起こした。また、感染した人や医療従事者などへの中傷差別が社会問題となり、新型コロナウイルス感染対策として防疫教育と中傷差別防止教育をセットで学ぶ必要性を示されました。また、心の健康授業で、いじめ・自殺防止に関して友達関係スキル体験や心のサポート授業などでストレスを学ぶことが大切、この10年子供の自殺者数と小学生の暴力件数は増加の一途で、災害や暴力やいじめはトラウマ反応を惹き起こす。トラウマ反応の意味と適切な対処を事前に学ぶ、小学校1年生から暴力を使わない怒りの表現を学ぶ、試験や試合を乗り越えるメンタルトレーニングを心の健康授業で学ぶ。コロナ禍で子供のストレスは過去最悪であり、全学年で心の健康・ストレスを学ぶ時間の確保が大切。保健体育

科以外にも総合的な学習の時間においてストレスを課題にして教科等横断的に探究的な学習を行う、特別活動の学級活動でストレスを含めた心の健康について問題としてとりあげ解決方法の話合いや意思決定を行うことが出来る。「心の健康」と「道徳」の2本柱をバランスよく授業時間を構成し、いじめ・暴力・自殺防止の予防教育を充実させる必要があると話されました。

学校薬剤師として、今まで薬教育や薬物乱用防止教室で子供たちに話をする際、正しい服用法や違法薬物の危険を強調することもあります。薬剤師として科学的なデータを基に恐怖心や差別的な感情を惹き起こすことのないように配慮することが必要で、コロナ禍で自宅で過ごす時間が長くなり家族内での摩擦が多くなる場合があり、また、マスクで顔の表情が分かりにくくコミュニケーションが希薄になることも考慮した内容で話が出来ると良いと考えます。

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所の嶋根卓也心理社会研究室室長（薬剤師）や松本俊彦所長（精神科医師）らが「ダメ、ゼッタイで終わらせない薬物乱用防止教育」のご講演の中で、中高生などが学校生活は楽しくない、相談できる友人や親しく遊べる友人がいないなど「社会的孤立状態」に陥り、家庭生活においても悩み事を保護者に相談できない、大人不在で子供だけで過ごす時間が長いなど、保護者とのコミュニケーションが不十分で違法薬物を使っている仲間が身近にいて誘われ、断れないなどの状況が危険薬物に手を出してしまう原因のひとつになっている。また、このようなことから辛い精神状態や「生きづらさ」から何とか抜け出したいという気持ちからOTC薬の過剰服用（OD）などを行う姿があるなどが指摘され、これからの薬物乱用防止教室では、薬物使用のリスクが高く、援助希求性の低い子供たちに対しては、薬物のことで困った時の相談先に関する情報を提供していくことや、相談に対するハードルを下げていくようなアプローチが有効かもしれないとされ、また、医療従事者に課せられた守秘義務についても説明が必要と話された。

これらのことを参考に、今後の薬物乱用防止教室等での講演に活かしたいと思います。

★★★ もくじ ★★★

巻頭言	1	質問に答えて	24
寄稿	3	コロナ禍の取り組み	27
特別報告	6	話題のひろば	30
受賞おめでとうございます	10	リレーエッセイ	32
会務報告	12	職場紹介	33
理事会報告	13	会員の動き	35
委員会の動き	15	保険薬局の動き	37
部会の動き	19	求人情報	37
地域薬剤師会の動き	20	編集後記	40
薬連だより	22		

新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えたリーフレットについて（活用をお願い）

新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行に備えて、厚生労働省では、国民に対して感染状況に応じた具体的な協力を呼び掛けるリーフレットを作成されました。

会員の皆様におかれましては、当該リーフレットについて、薬局等での掲示や来局者へ配布する等、ご協力をお願いいたします。

また、薬局における抗原定性検査キット、OTCの解熱鎮痛薬の販売・相談対応の強化、さらには、抗原定性検査キットを「販売している」旨の周知・広報についてもご協力いただきますようお願い申し上げます。

※リーフレットは、厚生労働省ホームページからダウンロードが可能です。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00003.html



プロスポーツチームの立場から薬剤師の先生方に期待すること ～アンチ・ドーピングに関する協定締結を通じて～

株式会社岩手ビッグブルズ 代表取締役社長 水野 哲志

本年9月に岩手県薬剤師会様と岩手ビッグブルズとの間でアンチ・ドーピングに関する協定を締結させていただきました。昨年の東京オリンピックの開催等もあり各種報道等でもドーピングに関する話題を見聞きする機会が多くなってきておりますが、実際に薬剤師会とプロスポーツチームとの間で協定を締結し相互にアンチ・ドーピング活動を協力して行っていくという事例は全国初とのことで、弊社としても非常に嬉しく思っております。

アンチ・ドーピングに関する協定

株式会社岩手ビッグブルズ（以下「甲」という。）と一般社団法人岩手県薬剤師会（以下「乙」という。）は、アンチ・ドーピングに関する協定を、次のとおり締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲及び乙が連携及び協力することにより、選手の健康やスポーツの健全な発展に貢献するとともに、アンチ・ドーピング活動を通じて県民の健康の増進を図ることを目的とする。

（連携・協力事項）

第2条 甲及び乙は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について、連携及び協力し実施するものとする。

- (1) 選手及び関係者に対するドーピングに関する情報提供や相談応答に関すること
- (2) 試合会場等での県民に対するアンチ・ドーピング啓発活動に関すること
- (3) 県内各地域や小中学校での医薬品の適正使用の啓発活動に関すること
- (4) 前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事項

（協議）

第3条 この協定に定めがない事項については、甲乙協議のうえ決定するものとする。

（有効期間）

第4条 この協定の有効期間は、協定締結の日から令和5年6月30日までとする。ただし、有効期間満了日の3ヶ月前までに甲乙何れからも書面による終了の意思表示がない限り、満了日から更に1ヶ年自動的に更新されるものとし、その後もまた同様とする。

この協定を証するため、本書2面を作成し、甲、乙記名押印して、それぞれの1通を保有するものとする。

令和4年9月21日

甲 岩手県盛岡市大沢川原3-5-11
株式会社岩手ビッグブルズ
代表取締役社長 水野 哲志

乙 岩手県盛岡市馬場町3-12
一般社団法人岩手県薬剤師会
会長 畑澤 博巳



本題に入る前に、まずは当チームについて紹介させていただきたいと思います。2010年、日本プロバスケットボールリーグ（bjリーグ）参入を目指して、岩手プロバスケットボール設立準備発起人会を設立し、8月10日にbjリーグへ参入申請書を提出。8月26日に2011-12シーズンからのbjリーグ参入が決定しました。bjリーグ時代には、桶谷大氏（現琉球ヘッドコーチ）や勝久ジェフリー氏（現日本代表アシスタントコーチ、現川崎アシスタントコーチ）らをヘッドコーチとして招聘し幾度とプレーオフに進出しリーグを沸かせてきました。2016-17シーズンからは当チームがこれまで主戦場としてきたbjリーグとナショナル・バスケットボール・リーグ（NBL）とが統合され、現在のB.LEAGUEが誕生しました。リーグ統合時にはこれまでの実績をもとに1部（B1）への参入を目指したものの、当チームは残念ながら2部（B2）に振り分けられ、さらには2017-18シーズンにはB2最下位となりその後の入れ替え戦でも敗れ3部（B3）に降格となりました。それ以降は毎年「B3優勝、B2昇格」を合言葉にチーム一丸となってB3リーグを戦っておりますが、2019-20シーズンの新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりシーズンが途中で打ち切りとなってしまう優勝した佐賀と1勝差だった4位をはじめ、毎年善戦こそするもののあと一歩のところでは昇格を逃している非常に悔しい状況が続いております。今季は新しく鈴木裕紀氏をヘッドコーチとして招聘し、選手も約半数が入れ替わり、シーズン開幕前のプレシーズンマッチでも格上のB1所属のチームにも幾度と勝利し、念願の「B3優勝、B2昇格」を達成するべく前に進んでいるところです。10月末現在、開幕初戦こそ敗れたもののその後は7連勝で7勝1敗のリーグ2位につけて

おります。来年4月までリーグ戦が、その後は5月にかけて上位8チームによるプレーオフが開催されます。まだまだ長い戦いが続きますので、ぜひ皆様にも会場へ足をお運びいただき頑張る選手たちに熱い応援をいただければ幸いです。



さて、我々プロスポーツチームから薬剤師の先生方に期待することですが、選手たちは常に目先の勝利をプロとして追い求めており、また自身のコンディションの維持・向上のために薬にもすがり、思いで非常にストイックな生活をしております。そんな中でも不意の怪我や病気で医療のお世話になることも少なくありません。最近では薬剤師会の先生方のご努力もあり、学校薬剤師等の活動を通じてジュニア世代からアンチ・ドーピング教育を受けられる環境が整備されつつあると聞いていますが、今現在当チームに所属している20代、30代の選手たちはそのような十分な教育を受けてきたとは言い難い状況です。リーグ戦や天皇杯ではいつドーピング検査が入られてもおかしくないのですが、おそらく選手たちは検査の対象になると不慣れで動揺してしまうことが予想され

ます。ですので、当チームとしては2021-22シーズンより貴会会員でアンチ・ドーピング委員会委員でもある野館敬直氏をクラブファーマシストとしてチームスタッフの一翼を担っていただき、毎年選手・スタッフ向けにアンチ・ドーピング講座を開催し、さらに選手たちには薬を処方してもらった際には口に入れる前に野館氏に必ずチェックしていただくということを徹底しております。また、野館氏には薬（ドーピング）だけに限らず、選手たちの体調管理をトレーナーと協働して行っており、必要に応じて医療機関への受診勧奨などの助言も頂いており、身近な医療スタッフとして頼れる存在でたいへん感謝しております。プロチームでさえこのような状況ですので、国体などを目標として活動しているアマチュアアスリートの選手の方々についてはさらにこういった環境に恵まれていないであろうことが容易に予想されます。是非薬剤師の先生方におかれましては、アスリートたちが身近に感じられる相談役になっていただき、様々な助言を頂けますと幸いです。ジュニアアスリートの場合には急激な体格（身長、体重など）の変化、女性アスリートの場合には月経の問題など、なかなか誰に相談したらいいのかわからず困ったということを耳にします。ほかにも食事・プロテイン・サプリメント・栄養ドリンク・エナジードリンクなどについても、相談できる人がおらず自身の素人判断を余儀なくされるケースもあると聞いています。こういった様々な悩みを抱えたアスリートたちが「まずは薬剤師さんに聞いてみよう！」と自然と考えていただき、さらには「自分の担当の薬剤師さんは〇〇〇〇先生です！」と指名してもらえるような存在になっていただければ最高です。このたびの協定締結に先立ち貴会アンチ・ドーピング委員会委員長の本田昭二先生とのお話の中で、「薬剤師側もアスリートとどのように接点を作っていくかに苦慮している」とのお話をいただきました。我々としては、試合会場に岩手県薬剤師会さんにアンチ・ドーピング啓発ブースを作っていただき、会場に足を運んでくださるジュニアアスリートなどを中心に教育・啓発活動をどんどん実施して頂きたいと考えております。当チームとしても選手たちには、

ドーピングばかりではなく日頃からのプレースタイルや礼儀・態度などのすべてを通じてクリーンな印象を与えられるようしっかり教育し、公平かつ公正で正々堂々とプレーすることを徹底させてイメージ向上に努めていきたいと思っています。こういった活動を足掛かりとして、幅広くアンチ・ドーピングについて周知していただければ幸いです。さらには薬剤師さんには、「身近な医療者」として、健康のことで気になることがあれば気軽になんでも相談できるという存在になっていただきたいと期待しております。

非常に勝手ではありますが、プロスポーツチームの代表として薬剤師の先生方に期待することを述べさせていただきました。もしかしたら今回述べた内容は薬剤師の専門外のことまでお願いしてしまっているかもしれませんが、先述した通り当チームとしてはなにか困りごとがあれば「まずは薬剤師さんに相談してみよう！」となっているのが現状です。100点満点の回答が得られなくても、必ずやそれに近づけてくれる助言をいただける本当にありがたい存在であることは間違いありません。アスリートは健康があってこそ最大のパフォーマンスが発揮できます。是非今後とも先生方のお力を借りながら、目の前の一戦一戦を戦っていきたいと思います。今回の協定締結を足掛かりとして、岩手県薬剤師会の皆様との協力体制をより強固なものとして進んでいただきたいと思っておりますので、是非とも我々岩手ビッグブルズにもお力添えの程よろしくお願い申し上げます。最後に繰り返しになりますが、県内各地にて試合が開催予定ですので是非とも会場に足をお運びいただき念願の「B3優勝、B2昇格」に向けて熱い応援をよろしくお願いいたします。



2022-23 SEASON GAME SCHEDULE				2022.10			
10.1	10.2	10.8	10.9	10.15	10.16	10.22	10.23
11.5	11.6	11.12	11.13	11.18	11.19	11.26	11.27
12.2	12.3	12.10	12.11	12.17	12.18	12.24	12.25
2022.11				2022.12			
2023.1				2023.2			
2023.3				2023.4			

<https://www.bigbulls.jp/>

岩手県薬剤師会創立 110 周年記念式典・祝賀会報告

110 周年記念式典・祝賀会準備小委員会
委員長 畑澤 昌美

令和 4 年 10 月 30 日（日）13 時よりホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 4 階、メトロポリタンホールにて岩手県薬剤師会創立 110 周年記念式典・祝賀会が開催し、会員はじめ、約 150 名の皆様に参加していただき、盛大な記念式典・祝賀会となりました。

当日は岩手放送アナウンサー風見好栄さんの司会で進行され、金澤貴子副会長の開会の辞の後、畑澤博巳会長より、1912 年（明治 45 年）に日本薬剤師会岩手県支部設立から現在までの歩みと今後の取り組みについて式辞がありました。来賓として鈴木俊一財務大臣、達増拓也岩手県知事、本間 博岩手県医師会会長、山本信夫日本薬剤師会会長（代理）安部好弘副会長にご臨席賜り、それぞれお祝いのお言葉を頂きました。祝電披露に続き表彰式が行われ、畑澤博巳会長より感謝状を村井研一郎顧問、菅原俊英、大谷道男、齊藤 明、西野 豊、宮手義和、各相談役に、永年役員表彰を金澤貴子、畑澤昌美、熊谷明知、工藤賢三、本田昭二、中田義仁、湊谷寿邦、高林江美、佐藤昌作、細田稔男、各役員に、永年勤続表彰を押切昌子、藤村 祥、佐々木由香子、木谷紀恵、佐々木馨、阿部貴美子、青柳京子、各職員へ表彰盾が贈られました。その後、受賞者を代表して、菅原俊英氏より謝辞が述べられ、畑澤昌美副会長の閉会の辞で記念式典を終了しました。受賞者のみなさまおめでとうございます。この日のために用意された表彰盾は安比塗漆器工房で作っていただいたものです。

記念式典に引き続き、祝賀会が開催されました。

佐藤裕司副会長の開会の辞に続いて、来賓の谷藤裕明盛岡市長、神谷政幸参議院議員のお二人より、それぞれお祝いのお言葉を頂きました。その後、佐藤 保岩手県歯科医師会会長に乾杯のご発声を頂き祝宴が開催されました。

祝宴では創立 110 周年を記念して作成されまし

たプロモーションビデオが上映されました。このビデオは第 1 部「1912 年から 2022 年までの歴代会長とその時代」、第 2 部「平成令和の歩み 30 年」の二部構成で DVD に収められ、記念品とともに出席者へ贈られました。八巻貴信副会長が閉会の辞を述べられ、盛会のうちにお開きとなりました。

プロモーションビデオには歴代会長や功労者が収められた内容で、参加いただいた皆様から好評を頂きました。

また、当日の岩手日報に創立 110 周年の広告を掲載し、「みなさまのかけがえのない日々を守り続けます」として県民に対して本会の活動などを紹介いたしました。

尚、記念式典は新型コロナウイルス感染防止の観点から、本来の形式を改め、式典と祝賀会を同一会場で行い、また、祝賀会につきましては、会食の時間を短めに設定し、アトラクションを行わないで開催いたしました。事務局や記念式典・祝賀会準備小委員会、記念誌準備小委員会の皆様にもお手伝いいただき、盛会理に終えることが出来たことを感謝申し上げます。





畑澤 博巳 会長



鈴木 俊一 財務大臣



達増 拓也 岩手県知事



本間 博 岩手県医師会会長



安部 好弘 日本薬剤師会副会長



感謝状贈呈



受賞者代表挨拶 菅原 俊英 相談役



谷藤 裕明 盛岡市長



神谷 政幸 参議院議員



佐藤 保 岩手県歯科医師会会長



祝宴の様子



『不易流行 ～選ばれる薬剤師を目指して～』 第73回東北薬剤師会連合大会、開催される
～工藤 賢三 先生、金澤 悟 先生、薬事衛生功労者表彰受賞おめでとうございます～

岩手県薬剤師会専務理事 熊谷 明知

第73回東北薬剤師会連合大会が、11月19日・20日の両日、青森市の「青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ」で開催されました。

ここ2年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、現地参加者数を制限し、Web参加を併用する、いわゆるハイブリッドでしたが、今回は、「基本的には現地参加」とし、特別講演等の研修部分はWeb参加も併用する形で開催されました。



大会は、渡邊大記日本薬剤師会副会長による「医療ICTの進展と薬剤師の業務」と題した講演で幕をあげました。国は、医療・介護分野においてもDX化を進めているとして、「オンライン資格確認」「マイナンバーカードと健康保険証の一体化」「電子処方箋の仕組み」「薬剤師資格証（HPKI）」「デジタルメディスン」について紹介いただきました。

続いて、大島 理森前衆議院議長から、「先進国の少子化現象と政治文化の比較について」と題した講演を拝聴しました。明治憲法下も含めた議長在任期間の歴代最長記録を更新（2,336日）された氏の講演は、演題の枠を超えてグローバルなもので、とにかく圧倒された1時間でした。中でも、経験に裏打ちされた、「民主主義とは、徹底して議論したうえで論点を整理し、合意形成の努力を惜しまない。そのうえで、数の論理で決するもの」という言葉が印象に残りました。

その後、薬事衛生功労者の表彰が行われ、本会からは、工藤賢三先生（盛岡）と金澤悟先生（二戸）が受賞されました。

工藤先生は、岩手医科大学附属病院薬剤部長として、また、岩手県病院薬剤師会長として、シームレスな薬物療法を提供するための医療機関と薬局の連携を牽引されています。また、県薬においては、平成14年から監事、20年からは専務理事を務められ、常に患者や住民の視点を意識したう

えで「薬剤師のあり方」について考えながら会務・事業に取り組まれています。

金澤先生は、二戸薬剤師会役員として、地域の医薬分業の進展、保険調剤の質的向上及び適正化に積極的に取り組み、会長に就任された平成22年以降は、前述に加え、医療介護連携の推進、地域の学校環境衛生の向上や児童生徒の健康保持・増進、さらには次世代薬剤師の積極的な登用による組織の活性化に尽力されています。

両先生、誠におめでとうございます。今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。

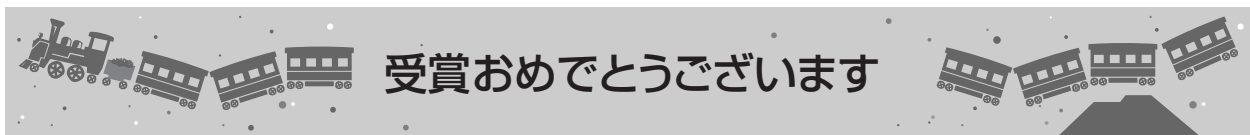


（左から、工藤先生、畑澤会長、金澤先生）

大会2日目は、「選ばれる薬剤師を目指して」をテーマに、各県の取り組み事例について発表・討論が行われました。当県からは、佐藤裕司副会長が、「岩手県における薬業連携の取り組み」について、これまでの取り組みに加え、現在、取り組んでいる内容について紹介されました。他県の様々な取り組みを知ることができた、非常に有意義な時間でした。

今大会のテーマである「不易流行」。「いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。また、新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること」という意味だそうです（解釈は諸説あり）。まさに、今、薬剤師に求められることを表現している言葉であると感じました。

青森県薬剤師会の皆様に改めて感謝申し上げます。



秋の叙勲 瑞宝双光章

伝達式・令和4年11月4日（岩手県庁）



一関薬剤師会
白石 恵一 先生

日本薬剤師会賞

表彰式・令和4年10月9日（仙台市仙台国際センター）



盛岡薬剤師会
畑澤 博巳 先生

薬事功労者厚生労働大臣表彰

伝達式・令和4年11月18日（岩手県庁）



宮古薬剤師会
湊谷 寿邦 先生



盛岡薬剤師会
川口さち子 先生

岩手県知事表彰（保健医療功労）

表彰式・令和4年11月16日（エスポワールいわて）



盛岡薬剤師会
押切 昌子 先生



盛岡薬剤師会
佐藤 昌作 先生

薬物乱用防止に功績のあった者に対する厚生労働大臣感謝状

伝達式・令和4年11月3日（アイーナ）



盛岡薬剤師会
本田 昭二 先生

薬物乱用防止に功績のあった者に対する厚生労働省医薬・生活衛生局長感謝状

伝達式・令和4年11月3日（アイーナ）



花巻市薬剤師会
坂本 秀樹 先生

第73回東北薬剤師会連合会賞（薬事衛生功労者）

表彰式・令和4年11月19日（青森市ワ・ラッセ）



盛岡薬剤師会
工藤 賢三 先生



二戸薬剤師会
金澤 悟 先生



会務報告



月	日	曜日	行事・用務等	場 所	参加者
10	1	土	非常時・災害対策委員会	岩手県薬剤師会館	
			藤原たかし代議士を囲む集い	ホテルシティプラザ北上	八巻、佐藤(明)、三浦
	2	日	薬局ビジョン推進セミナー	岩手県薬剤師会館	
	3	月	岩手県総合防災訓練第4回参加機関打合せ	大船渡市三陸公民館ほか	金野
	8	土	第3回都道府県会長協議会	仙台市	会長
	9	日	第55回日本薬剤師会学術大会(～10日)	仙台市	
	11	火	病院・診療所勤務薬剤師部会役員会	(We b)	
	13	木	第4回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
	14	金	薬局ビジョン推進セミナー	(We b)	
	17	月	薬と健康の週間 ラジオ出演(～21日)	I B Cスタジオほか	会長ほか
	22	土	鈴木俊一政経セミナー	ニューウイング	会長
	25	火	県薬・病薬合同 地域連携ワーキンググループ会議	(We b)	
	27	木	学校薬剤師部会 役員・支部長合同会議	(We b)	
	29	土	岩手県総合防災訓練	陸前高田市	佐藤(裕)ほか
	30	日	創立110周年記念式典・祝賀会	ニューウイング	
	31	月	医療保険委員会	岩手県薬剤師会館	
11	1	火	日薬 薬剤師のかかりつけ機能強化事業に係る説明会	(We b)	八巻、押切
	2	水	日薬連 都道府県薬剤師連盟会長会	日本薬剤師連盟	会長
	3	木	麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動盛岡大会	アイーナ	畑澤(昌)
	9	水	日薬連 総括委員会	日本薬剤師連盟	会長
	10	木	全国学校保健・安全研究大会(～11日)	盛岡市文化ホールほか	会長
			岩手県自殺対策推進協議会	アイーナ	熊谷
	12	土	日薬学薬部会 東北ブロック連絡会議	(We b)	本田、佐々木(宣)、宮手
	13	日	岩手県薬剤師フォーラム2022	ニューウイング	
	14	月	岩手県がん対策推進協議会	岩手県公会堂	金澤
	15	火	医薬品試験委員会	検査センター	
	16	水	岩手県保健医療功労者表彰式	エスポワール	佐藤(昌)、押切
			一関薬剤師会 自殺対策研修	ベリーノホテル一関	
	17	木	第5回常務理事会	岩手県薬剤師会館	
	18	金	薬事功労者厚生労働大臣表彰伝達式	岩手県庁	湊谷、川口
			岩手県薬学・薬事関係者懇話会世話人会	岩手県薬剤師会館	
			サイバーリスクセミナー東京海上日動	(We b)	大宮
	19	土	第73回東北薬剤師会連合大会(～20日)	青森市	会長ほか
	20	日	日薬 東北ブロック会議	青森市	会長ほか
	21	月	編集委員会	岩手県薬剤師会館	
	22	火	第72回優良商工従業員表彰式	盛岡劇場	佐々木(由)
	23	水	高度管理医療機器販売者継続研修	アイーナ	
	24	木	学校薬剤師部会役員会	岩手県薬剤師会館	
	25	金	薬局ビジョン推進セミナー	(We b)	
	26	土	第5回理事会・第4回地域薬剤師会会長協議会	岩手県薬剤師会館	
			内丸薬局運営協議会	岩手県薬剤師会館	
			薬局ビジョン推進委員会	岩手県薬剤師会館	
	28	月	日薬 健康サポート薬局研修担当者全国会議	(We b)	村井、藤村



理事会報告



第4回常務理事会 令和4年10月13日（19：00～21：30） 岩手県薬剤師会館	
報 告 事 項	1 会務報告と今後の予定について 2 令和4年度会計の中間報告について 3 第3回都道府県会長協議会について 4 岩手ビッグブルズとの「アンチ・ドーピングに関する協定」締結について 5 創立110周年事業実行委員会から 6 生涯教育推進委員会から 7 医療安全推進委員会から 8 アンチ・ドーピング委員会から 9 薬局ビジョン推進委員会から 10 非常時・災害対策委員会から 11 学校薬剤師部会から 12 病院・診療所勤務薬剤師部会から 13 令和4年度薬と健康の週間の取組みについて 14 その他
協 議 事 項	1 県薬職員の冬季賞与の支給について 2 創立110周年の新聞広告について 3 薬剤師資格証発行に係る対応について 4 第73回東北薬剤師会連合大会について 5 薬学・薬事関係者懇話会 令和5年新年会について 6 次回調剤報酬・介護報酬改定に向けた意見・要望について 7 その他

第5回常務理事会 令和4年11月17日（19：00～21：00） 岩手県薬剤師会館	
報 告 事 項	1 会務報告と今後の予定について 2 令和4年度「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業【第2期】」における都道府県薬剤師会実施事業（モデル事業）に係る説明会について 3 創立110周年記念式典・祝賀会について 4 多職種連携モデル業務（令和4年度糖尿病性腎症重症化予防対策事業）について 5 令和4年度 岩手県総合防災訓練について 6 令和4年度 第1回 県薬・病薬合同 地域連携ワーキンググループ会議から 7 学校薬剤師部会 役員・支部長合同会議について 8 医療保険委員会から 9 次回調剤報酬・介護報酬改定に向けた意見・要望について 10 第73回東北薬剤師会連合大会について 11 その他
協 議 事 項	1 令和4年度日本薬剤師会東北ブロック会議について 2 第74期臨時総会の運営について 3 令和4年度「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業【第2期】」の「事業2」に係る都道府県薬剤師会実施事業（モデル事業）の募集について 4 岩手県薬剤師会 代議員選挙について 5 その他

第5回理事会・第4回地域薬剤師会会長協議会 令和4年11月26日（14：30～16：30） 岩手県薬剤師会館		
報 告 事 項	1	会務報告と今後の予定について
	2	創立110周年記念式典・祝賀会について
	3	第73回東北薬剤師会連合大会について
	4	令和4年度日本薬剤師会東北ブロック会議について
	5	多職種連携モデル業務（令和4年度糖尿病性腎症重症化予防対策事業）について
	6	生涯教育推進委員会から
	7	アンチ・ドーピング委員会から
	8	非常時・災害対策委員会から
	9	医療保険委員会から
	10	学校薬剤師部会から
	11	病院・診療所勤務薬剤師部会から
	12	令和4年度 第1回 県薬・病薬合同 地域連携ワーキンググループ会議から
	13	次回調剤報酬・介護報酬改定に向けた意見・要望について
	14	令和4年度 薬と健康の週間の取組みについて
	15	会員の表彰について
	16	「薬学薬事関係者懇話会・令和5年新年会」の中止について
	17	その他
協 議 事 項	1	第74期臨時総会の運営について ①各事業所・部会・委員会の事業報告について ②令和4年度補正予算および令和5年度予算案の提出について
	2	岩手県薬剤師会 代議員選挙について
	3	その他
地域薬剤師会 会 長 協 議 会	1	令和4年度の県薬事業について ・令和4年度の地域薬剤師会活動報告について
	2	薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業への参加について
	3	注射針回収事業における注意事項の連絡について
	4	意見・情報交換
	5	その他



委員会の動き



生涯教育推進委員会から

委員長 押切 昌子

令和4年役員改正に伴い新たな委員構成で委員会活動を行なって参ります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

担当副会長	八巻貴信	(むつみ薬局)
委員長	押切昌子	(会宮内丸薬局)
委員	佐々木栄一	(盛岡赤十字病院)
	佐々木宣好	(盛岡市立病院)
	佐藤明美	(仁衛堂薬局アスティ店)
	高橋典哉	(岩手県立中央病院)
	村上俊介	(ドラッグコスモス)
	於本崇志	(岩手医科大学付属病院)

【活動方針について】

薬剤師の職能向上のために「研修認定薬剤師制度」及び「JPALS」の普及に努めていくとともに、指導者研修会を通して、地域の実情に応じた研修の企画やチーム医療の実践に繋げるための計画立案に携わります。研修会の企画においては研修シラバスの利用についても啓発していきます。

また、日本医療薬学会に設けられた「地域薬学ケア専門薬剤師」認定に対して岩手県薬剤師会としてマッチング調整業務を行うとともに、高度管理医療機器を取り扱う施設の管理者に対し、「高度管理医療機器販売業等管理者の継続研修」を企画し開催します。新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連して日薬より「薬剤師による予防接種研修プログラム」が発出され、研修を担当することになり、今後研修会の開催に向けて検討していきます。

【研修シラバスについて】

「研修シラバス」は、日本薬剤師会が平成30年度「患者のための薬局ビジョン」を実現し地域医療の質の向上を図るため、「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業」を実施し、「薬剤師のかかりつけ強化のための研修シラバス」を作成したものです。薬剤師が対人業務においてその専門性を発揮し、かかりつけ薬剤師としての役割を果たすために、関係団体・学会等がこのシラバスを共通の指標として、必要な研修機会を提供していくことを期待しています。

「研修シラバス」は日本薬剤師会ホームページの『薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業』のページに平成30年度から始まった事業の報告とともに「研修シラバス平成30年度版」、「令和2年度改訂版」が掲載されています。直近では令和3年度改訂版が発行されたところです。

日本薬剤師会では、地域においてかかりつけ薬剤師・薬局の機能と、それを発揮するために必要な資質を強化するために、この「研修シラバス」を参考にして各都道府県薬剤師会で地域の実情に則した研修シラバスを作成し、それに基づいた研修を企画、立案し開催するように勧めてきました。

当委員会ではそれぞれの地域で研修シラバスを独自に作成し研修を行うことは難しいと考え、まず各委員会、各地域薬剤師会に対して、日本薬剤師会が作成した「薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバス」を紹介し、計画している研修会に利用していただくようお願いすることといたしました。

各地域薬剤師会の生涯教育の研修担当者がこの研修シラバスを利用し研修会等を計画、立案できるよう周知していきます。順次案内していきますが、将来的に会員の皆様が自身の研修計画を立てるのにJPALSと併せて利用していくことが可能と考えています。

【JPALSについて】

日本薬剤師会では、薬剤師が目指すべき具体的指標としプロフェッショナルスタンダード (SP) を作成公表し、薬剤師の生涯学習を支援するためのシステムJPALSを運営していますが、この度、PSを全面的に見直し「令和4年度版」として改訂、公表されましたので、登録されている方は確認していただくようお願いいたします。

JPALSの認定はいくつかの学会の認定薬剤師の条件のひとつにもなっており、将来的にも有効な認定資格ですので、自身の生涯教育の指標のひとつとなり得ます。今後ともJPALSへの登録をよろしくお願い申し上げます。

令和4年度 岩手県総合防災訓練に参加しました！

委員長 中田 義仁

毎年、県内を巡回して開催されていた岩手県総合防災訓練は、新型コロナウイルス感染拡大により、中止・縮小開催が続いていましたが、今年は3年ぶりにフルサイズで、気仙地域で開催され、当会では、気仙薬剤師会に協力いただき参加しました。

令和4年度 岩手県総合防災訓練 の概要

(1) 目的

令和4年度の岩手県総合防災訓練は、東日本大震災津波、平成28年台風第10号災害及び令和元年台風19号災害等の大規模災害の教訓を生かし、「自助」、「共助」、「公助」の災害対応の総合力の強化を図ることを目的とし、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意して下記の方針に基づき実施する。

(自助) 地域住民等に対する防災知識の普及啓発及び防災意識の高揚

(共助) 参加者・防災関係機関における的確な対応の習得

(公助) 災害現場における防災関係機関の連携強化

(2) 実施日時：令和4年10月29日(土)

8時30分～12時

(3) 主な訓練場所：岩手県庁舎及び各市町村庁舎
大船渡市、陸前高田市、住田町

(4) 訓練参加機関：97 機関

(5) 訓練概要

地震・津波と大雨による浸水害・洪水害及び土砂災害の発生を想定した避難や避難行動要支援者の避難、社会福祉施設入所者の指定避難場所への避難、外国人観光客・負傷者等への対応、避難所運営等の訓練を実施するとともに、広域訓練の実施意義に基づき、県・市町・防災関係機関相互の連携と協力体制の強化を図る。

(6) 岩手県薬剤師会 参加訓練項目

- ・避難所における感染症予防対策訓練
- ・J-SPEED を活用した避難所における関係機関調整訓練
- ・医薬品供給訓練
- ・薬品仕分け訓練

薬剤師会が実施する訓練は、医療介護関係機関・団体と連携して行う「保健・医療サービス提供訓練」の一環として位置づけられ、避難所に設定された陸前高田市コミュニティホールを会場に行い

ました。

ホール内には、世帯毎に避難することを想定して、段ボール製の住居スペースが設置されました。



その周囲を取り囲む形で、参加団体がブースを割り当てられ、避難者対応するという形式で訓練が行われました。



会場に到着して最初に行ったのは、「医薬品の仕分け」です。「各地から届いた医薬品を分別・整理した後、医薬品リストを作成し、避難所等に設置された救護所に提供し、医薬品の供給に備える」というシナリオで行いました。これまでも行ってきた内容ですが、医薬品リストの作成に時間を要すること、短時間で見やすいリストを作成するのは難しいことが課題だったことから、今回は、(株)バイタルネットに協力いただき、「災害時医薬品管理システムPOWERS」を活用して行いました。

このシステムは、医療機関向けの在庫管理システムを改良した試行版で、医薬品の外箱に掲載されているバーコードをハンディスキャナーで読み取り、システムに取り込み、蓄積することで、在庫データが出来上がるというものです。今回の訓

[illegible]

医薬品をどのように並べたらよいか、一般用医薬品のリストはどのように作成するか等、参加した薬剤師は意見交換しながら作業を進めました。



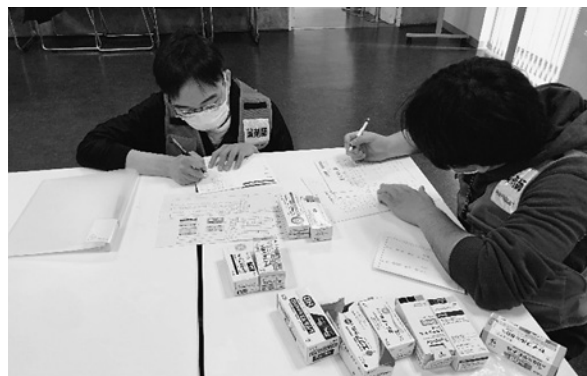
般用医薬品による対応や救護班への受診勧奨だけでなく、「薬は使わない」という選択肢も考えられるケースもありました。

薬剤師は、(当会オリジナルの)災害時臨床判断シートを用いて、聞き取りを行い、対応しました。

氏名 職名 所属機関等(学校)					
姓			郵便 TEL		〒 番 区 町 番地
◆押印(捺印可) L 学校印 O 学務印 G 図書印 T 研究印 S 学生印 F 研究員印 A 学友印 					
◆郵便印(捺印可) 郵便 (郵便 / 局) 局名 (国) 市区 / 〒 〒					
郵便の受取場所(宛先) 宛先(〒) 市区(〒) 局名(〒) 局名(〒) 局名(〒)					
調査の依頼先(宛先) 宛先(〒) 市区(〒) 局名(〒) 局名(〒) 局名(〒)					
調査の依頼先(宛先) 宛先(〒) 市区(〒) 局名(〒) 局名(〒) 局名(〒)					



日赤救護班を受診し処方箋が発行された方や歯科医師会ブースを受診し処方箋が発行された方については、医薬品集積所で調剤し、お薬手帳に必要事項を記入して、ブースに戻って、与薬・服薬指導を行いました。



処方箋に記載されている薬が、必ずしも医薬品集積所にあるわけではないので、ここでも、代替薬の検討・提案が求められました。



(薬の空き箱を調剤薬に見立てて、与薬・服薬指導)

訓練全体の閉会式会場が大船渡市で行われることから、陸前高田市の会場は11時で訓練終了となりました(ことに加え、一般の参加者が少なかったことから予定していた感染予防訓練をできず、残念でした)。

午後には、気仙薬剤師会が開催する災害対策研修会に参加して、防災意識を高めて、大船渡を後にしました。



(10/29午後開催された、気仙薬剤師会研修会の様子)

【岩手県総合防災訓練参加者アンケート】(抜粋)

- ・実践訓練することで、流れや雰囲気・実際に災害時はどのようなことをすればいいのかイメージがついた。
- ・災害時にも多職種連携の必要性を強く感じた。
- ・東日本大震災を経験していない薬剤師は訓練に参加することで防災意識が高まると思う。

- ・施設として、平時から避難所や避難経路を掲示する、連絡網の作成や非常時の対応をスタッフと共有する必要がある。
- ・自施設のマニュアルや備品の確認は毎年行うが、今回のように実際に体験・訓練する必要性があると感じた。

【考察】

岩手県総合防災訓練では、他の機関・団体から薬に関する問い合わせがあったり、在庫していない薬が処方されたりと、実際の災害医療の現場同様に、瞬時に判断しなければならないことの連続であり、薬剤師会だけで行う研修では、体験できないことなのでとても貴重な機会となっています。

今回、初めて、J-SPEEDを問診に用いた訓練を行ったわけですが、経験がないうえに限られた時間で対応しなければならないため、当会に限らず、スムーズにできたとは言えなかったと思いますが、大変ユニークな方法だと感じました。今回の経験を踏まえ、関係機関・団体が研修等で理解を深めていくことにより、共通した認識の下で行動できるようになるのではないのでしょうか。

訓練に参加して、体験することは、「平時に何をしておかなければならないか」を気付かせてくれる貴重な機会であり、多くの方に参加していただきたいと考えていますので、引き続きご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。





部会の動き



製薬企業・卸勤務薬剤師部会から

製薬企業・卸勤務薬剤師部会の活動状況・事業方針について

部会長 八巻 貴信

〇はじめに

本部会は職種部会として、製薬企業や医薬品卸業者等（医療機器メーカーにも薬剤師が在籍）に勤務する薬剤師や関連する薬学・薬事関係者との連携を深めるとともに、今後さらに進んでいく在宅医療や多職種連携による地域包括ケアシステムにおいて、同じ薬剤師や医療人として、必要な情報や知識を共有し、会の一員として活動していくことが必要であると考えています。

〇事業方針

・製薬企業の会員拡充

現在日本には約 350 の製薬企業（後発メーカー含み、内資系 300 弱、外資系 50 弱）があり、その中でも盛岡に支店や営業所がある製薬企業は、おおよそ 40 社あります。

その中で現在当会との企業会員となって頂いている企業様は参天製薬株式会社、東北辰巳化学株式会社、ニプロ株式会社、日本化薬株式会社、日本ジェネリック株式会社、扶桑薬品工業株式会社の 6 社となっており、帝人ヘルスケア株式会社様には日本薬剤師会と当会会員になって頂いております。

これからは、我々が取り巻く医療業界は、医療や介護、ICT 等企業との連携は大きなメリットと考えておりますが、個人会員ですと、せっかく入会して頂いても社内での定期的な移動等で連携が難しいと考えますので、製薬企業様とは賛助会員としてより多くの会員を集め、当会及び製薬企業が手を取り合って互いにさらなる発展を期待したいと考えていますので、今後はさらに多くの製薬企業様にご賛同頂いて賛助会員となって頂けるよう努力してまいりたいと考えています。

・医薬品卸業者への対応

医薬品卸業の各店舗には必ず管理薬剤師が在籍しておりますので、管理薬剤師には今まで通り個人会員となって頂いて、製薬企業等との橋渡しをお願いしたいと思っております。

賛助会員になってしまいますと、当会の理事等にはなれないため、個人での入会依頼を基本としています。

・今後の動き

昨年理事会にて製薬企業等へ賛助会員への入会案内作成・送付についての承認を得ておりますので、今年も継続事業として、多くの製薬企業様へ案内をさせて頂いて、ご理解頂き、より多くの賛助会員になって頂きたいと考えております。

〇おわりに

本部会においては、今後も個人会員はもちろんではありますが、より多くの製薬企業様に賛助会員となって頂き、多くの研修会の共催や情報を共有することで、多職種共同による、医療・介護・福祉を一体的に提供できる体制が構築できるよう、今後の薬剤師及び薬学・薬事関係者とのネットワークを強固にしていきたいと考えております。



地域薬剤師会の動き



北 上 薬 剤 師 会

会長 三浦 正樹（編集 伊藤貴文）



今回は北上市で進めているモバイルクリニックについてご紹介します。「一人暮らしの高齢者数：市人口の21%」「16地区中8地区に病院・診療所がない」という北上市の課題解決のために、長野県伊那市で実施されているモバイルクリニック事業（<https://www.youtube.com/watch?v=RTwNFRuDAiw>）を北上市でも導入しようと令和4年4月25日、北上市が説明会を実施し北上済生会病院、北上医師会、北上薬剤師会等が参加しました。

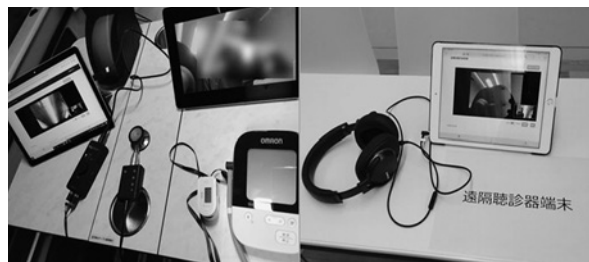
モバイルクリニックとは、医師不足を解決するための事業であり、通院困難な患者さん、看護師とオンライン診療機器を乗せた移動診療車が患者宅を訪問しテレビ会議システム、医療系情報共有システムを利用してリモート診察を実現するものです。

実際の車両や、オンライン機器の見学、体験ができる説明会が8/9～8/10に北上市保健・子育て支援複合施設Hokkoで行われました。



移動診療車はMONET（ソフトバンク＋トヨタ合併会社）のマルチタスク車両「MaaS コンバージョン」。車内を自由にレイアウトでき、データ基盤も整えられているモビリティサービスに特化した車両です。

オンライン診療機器は聴診器、心電図、オキシメーター、血圧、エコーなどがあり、一番大事な診察に使われる大きな縦型ディスプレイ（テレプレゼンスシステム『窓』）はソニーの技術が生み出した臨場感あるコミュニケーションシステムです（MUSVI株式会社＋北良株式会社）。



データベースとの接続で患者さんの今までの検査データなども参照出来るようになりますが、現在ではどのデータベースを使うのか未定です。

実際に見学してみた感想は、大型モニターは予想以上に臨場感があり対面で話をするのと変わりありませんでした。肌や喉の様子などがはっきり見えるので、炎症や褥瘡の様子などを診察するのに十分な機能があると感じました。

リモート聴診器も見学に来たドクターが体験し、とてもクリアに聞こえると言っていました。個人的にはモバイルであれば薬剤師も訪問診察時に立ち会える可能性も高いのでは？と期待しています。現段階で薬を受け取る流れは2通りあります。オンライン診療後、ご家族がクリニックへ処方せんを取りに行き、身近な薬局を利用する。もしくは、訪問可能薬局より訪問薬剤管理指導を受けることです。何れにせよ配薬・服薬指導にしっかり関わっていけるよう薬剤師会としてプロジェクトに参加していきたいと思います。

北上市では医師の在宅診療も他の地区に比べて

積極的に行われているとのことでしたので、従来の取り組みとの調整を測りつつ有効に活用できるよう検討が重ねられています。11/15にはモバイルクリニックの実証実験開始に合わせて、北上市保健・子育て支援複合施設Hokkoにおいて、市民お披露目会が行われる予定で、医師会、薬剤師会も出席予定です。



久慈薬剤師会

会長 新渕 純司

令和4年度の久慈薬剤師会の主な活動を紹介させていただきます。

本年度の活動目的は、会からの情報伝達および保険薬局部会での情報共有と情報交換・会員に向けての各種研修会を開催し、薬剤師としての知識と経験の研鑽に努めることにしました。

地域関係団体との医療連携に会員間の結束を深め、協力することとしました。

【1】薬剤師会総会について

本年度の総会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大を考慮し、参集しての開催を取りやめ、令和4年5月31日（火）に、書面決議により行いました。

報告事項（令和3年度事業報告・会計報告）、協議事項（令和4年度事業計画〈案〉・収支予算〈案〉・令和4年度役員改選〈案〉）について、本年度会員の過半数以上の議決権行使書（44名中31名賛成・棄権13名）が提出され、いずれの議案においても賛成が過半数を超えていることから、総会は成立し、各議案は承認されました。

【2】新型コロナウイルスワクチン集団接種調整の協力について

昨年度から継続して、久慈市ワクチン集団接種におきまして、ファイザー製・モデルナ製のワクチン調整業務に協力させていただきました。いずれも適正な調整に努め、トラブルなく、従事し続けています。

新型コロナウイルス感染症の流行が始まってから2年が経過しました。まだこの先予断を許さない状況が続いておりますので、ワクチンを接種しても油断せずに、感染防止に努めたいと思います。

【3】学校保健活動について

学校環境衛生定期検査を定期的を実施し、学校における薬学的指導・助言などに取り組み、児童・生徒の健康の保持増進に努めています。

薬物乱用防止教室へ講師を派遣し、薬物乱用の危害に対する正しい知識や心身への弊害などについて講演しています。

【4】学術講演会・研修会について

会員の資質向上の為、毎月1～2回の割合で開催しています。前年度はWEB開催のみでしたが、7月よりハイブリッド形式での開催となり、今のところ、WEB参加者が多い状況ですが、今後会場への参加者も増え、以前のように他会の先生方と意見・情報交換など出来るようになることを期待しています。

今年度は、行政から協力を求められ「災害時の対応・連携研修会」へ講師を派遣しました。（会場参加者35名・WEB参加者31名）終了後のアンケートでは、「良い機会になった」「このような機会を継続してほしい」などのご意見をいただきました。

このような機会を生かし、連携の強化に取り組んで行きたいと思います。





本田あきこオレンジ日記



参議院議員・薬剤師 本田 顕子

国会議事堂 ～歴史を刻む政治の舞台～

国会見学できますか？

こうしたお問合せが少しずつ増えてまいりました。

1920年（大正9年）から16年余りをかけて建てられたドイツ様式の風格ある議事堂は、中央の玄関から向かって左側が衆議院、右側が参議院です。朝日に映える姿、夕日が照らす風景、どちらも素敵です。そして、高さ65メートルの中央塔がライトアップされた時の月夜の晩は心安らぐ癒やしの景色と出会うことができます。

1936年（昭和11年）から使われ始めた議事堂の中央広間には、板垣退助、大隈重信、伊藤博文3氏の銅像のほかに、銅像のない台座が置かれ、「政治に完成はない、未完の象徴」という意味が込められていると言われています。国会議員にとって「いつか自分が」との夢と決意のためでもあるように思います。歴史を感じさせるふかふかの赤絨毯は有名で、それにつまずくようになったら足腰が弱っている証拠だと先輩議員から教えていただきました。

また、議事堂は、医薬分業を法的に義務づけた「医薬分業法」をめぐり、1955年（昭和30年）、施行時期の延期に反対し、医薬分業の推進を求める薬剤師の先生方や薬学生の方々が全国から集結し座り込みを行った場所でもあります。

国会の見学や傍聴はどなたでもできます。

薬剤師の先生方が見学に来られたときに「自分たちのことがこの場で話し合われている」と喜ばれることもあります。開会中の第210回臨時国会では、感染症有事に備えるための改正法案をはじめ、生活者や関連業界にとって身近でかつ重要な多くの法案が審議されています。私たちの「職場」をぜひ体感なさってください。私の事務所でもご案内させていただきます。

参議院ホームページ 国会体験・見学（見学、傍聴のご案内）

<https://www.sangiin.go.jp/japanese/taiken/bochou/kengaku.html>





薬連だより



まさゆき 政幸だより



参議院議員・薬剤師 神谷 政幸

初めての国会質問

10月3日に召集された臨時国会において、厚生労働委員会に所属することができました。厚生労働委員会は10月27日から実質的な審議が始まり、早くも二番手で質問に立つことになりました。この日は、前々日に行われた厚生労働大臣の所信表明演説に対する質疑でした。

まず、加藤大臣に対し、感染拡大防止と経済活動の両立を図る方針の下における今後の新型コロナウイルス感染対策について考えをお聞きました。

続いて、次の事項について担当局長に質問して答弁をいただきました。

- 革新的医薬品の開発促進に向けた環境整備の具体的内容について
- 医薬品、特に後発医薬品の安定供給を確保するための対策について
- 第8次医療計画の策定に向けた医薬品提供と薬剤師確保に関する検討状況について
- マイナンバーカードと保険証の一体化に向けての検討状況について
- 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を想定した医薬品提供体制及び自己検査のできる検査体制の強化に向けての取り組み状況について

最後に、予防・重症化予防・健康づくりについて質問を予定していましたが、一番手の議員が同様の質問をされましたので、私からは健康サポート薬局について言及しつつ、薬局や薬剤師も地域住民の健康増進に取り組んでいることを紹介させていただきました。

当日の審議の状況は、参議院のHP→「参議院審議中継」をクリック→カレンダーで開会日（10月27日）を選択→厚生労働委員会をクリック→委員会の動画によりご覧いただくことができます。動画下の発言者一覧より神谷政幸をクリックしてください。

初めての国会質問で緊張しましたが、何とか責務を果たすことができました。



10月27日 参議院厚生労働委員会

質問に答えて

Q. 授乳中の方に対する薬物療法の考え方について

「この薬を内服していますが授乳しても大丈夫ですか?」、「先生から授乳していても内服できる薬ですと言われたけれど本当ですか?」と患者さんから相談されたことがあるのではないのでしょうか。今回は、授乳中の薬剤の使用を検討する際の注意点について解説します。

【母乳育児の利点】¹⁾

母乳には、①乳児に最適な成分組成で少ない代謝負担、②感染症の発症及び重症度の低下、③小児期の肥満やのちの2型糖尿病の発症リスクの低下などの報告がされています。

また、母乳を与えることによって、①産後の母体の回復の促進、②母子関係の良好な形成などの利点があげられます。

岩手医科大学附属病院

佐藤 真咲、於本 崇志、森 薫、佐藤 文彦

そのため、母乳で育てたいと望まれるお母さんはたくさんいらっしゃいます。

【母乳への移行】

多くの薬剤は母乳中に移行しますがその移行する量は非常に少ないことがわかっており、乳児に影響する可能性は低いとされています。

しかし、薬剤によって母乳中への移行量や乳児への影響は異なります。そのため、母親に薬物治療が必要な場合、薬剤師が服薬の可否を適切に理解し、安全に母乳育児を継続できるようサポートすることが求められています。

母乳中への薬剤移行を推測するための情報源として以下のようなものが挙げられます(表1)。

表1 妊娠・授乳と薬に関する情報源

資料	医薬品添付文書	成育医療研究センターホームページ	産婦人科診療ガイドライン産科編 2020	Drugs and Lactation Database(LactMed)
特徴	●平成31年4月1日から施行された新記載要領では、「9.4 生殖能を有する者」、「9.5 妊婦」、「9.6 授乳婦」の項目から「妊娠・授乳と薬」の情報を得ることができる。 ●旧記載では、成分が母乳中に移行することをもって「投与禁」あるいは「授乳禁」として記載している薬剤が多く、現在は新旧の様式の添付文書が混在しているため、注意が必要である。	●授乳中に安全に使用できると考えられる薬剤について五十音順、薬効順に一覧表にまとめられている。 ●授乳中の使用には適さないと考えられる薬剤、妊娠中の薬剤に関するQ&Aも記載されている。	●日本産科婦人科学会 web サイトからダウンロードすることができる。 ●妊婦・授乳婦への予防接種やインフルエンザワクチン、抗インフルエンザウイルス薬の投与などについて記載されている。	●米国国立衛生研究所の情報。 ●2006年からインターネットベースにおいて授乳と薬剤に関する情報を無料公表している。
資料	母乳とくすりハンドブック	妊娠と授乳 薬物コンサルテーション 改訂3版	Hale's Medications and Mothers' Milk, 20th	Drug in Pregnancy and Lactation 12th
特徴	●各参考書籍とLactMedを情報源とした書籍。 ●現場での情報整理を容易にするため、おおまかに4つのカテゴリ(○、△、×)に分類されている。 ●母乳中への薬剤移行を推測するためRID、PB、M/Pなどの指標が記載されている。	●非妊娠期、妊娠期、授乳期に分けて疫学情報が記載されている。 ●妊娠期、授乳期の総合評価が記載されており、疫学情報をもとに薬剤選択の判断につなげることができる。	●母乳育児について5つのカテゴリで分類されている海外の専門書。 ●RID、PB、M/Pなどの指標も記載されている。	●妊娠期、授乳期についてのリスク評価が記載されている海外の専門書。

【母乳中薬剤移行のパラメータ】²⁴⁾

母乳中に薬剤が移行することが問題なのではなく、母乳へ移行した際に乳児に有害なことが起こることが問題となります。

薬理学的に母乳中薬剤移行を検討する場合、絶対的なパラメータはありませんが、以下のようなパラメータが用いられます。

授乳が可能かどうかについてはパラメータを用いて母乳中薬剤移行を推測するだけでなく、母乳育児に関する報告をもとに総合的に判断する必要があります。

○ theoretic infant dose (TID)：理論上の乳児薬物摂取量

TID は母乳摂取量により決定されるため、母乳摂取量を減らすことで乳児暴露量を少なくすることが可能です。

$$\text{TID (mg/kg/日)} = \text{乳汁中薬物濃度} \times \text{母乳摂取量 (mL/kg/日)}$$

○ relative infant dose (RID)：相対的乳児投与量

RID < 10% は体重当たりの投与量が母体の10%未満であることを意味します。小児の代謝解毒能力が大人と等しいと仮定した場合においては暴露量の比較的小さい薬物と解釈されます。

$$\text{RID (\%)} = \frac{\text{TID (mg/kg/日)}}{\text{(乳児の治療量 (mg/kg/日))}} \times 100$$

○ plasma protein binding rate (PB)：血漿たん白結合率

乳腺上皮細胞膜を透過できるのは、たん白質などの高分子に結合していない薬剤です。血漿たん白結合率の高い薬剤は暴露量が少ないと考えられます。

○ milk to plasma drug concentration ratio (M/P比)：乳汁／血漿薬物濃度比

乳汁と母体血中薬物濃度のバランスのことです。

M/P 比 < 1 の場合は、暴露量が少ないと考えられます。M/P 比が高い場合でも乳児が母乳を介して摂取する薬剤の総用量を計算すると、実際には極めて少量であることがほとんどです。

$$\text{M/P} = \frac{\text{乳汁中薬物濃度}}{\text{血漿中薬物濃度}}$$

○ oral bioavailability：経口バイオアベイラビリティ

経口バイオアベイラビリティの低い薬剤は血漿中に移行する量が少ないと考えられます。

経口バイオアベイラビリティについて小児または新生児における値に関する公表文献はないに等しいため注意が必要です。

【授乳中に注意すべき主な薬剤】

授乳中に注意すべき主な薬剤として以下のものが挙げられます（表2）。この表に記載されている以外の薬剤が、すべて安全な薬剤とは言えないため、母親が内服している薬について確認する必要があります。

表2 母乳栄養中に注意すべき薬剤³⁾

乳児の暴露レベルが治療域に近づく可能性が比較的高い薬剤	●フェノバルビタール ●エトスクシミド ●プリミドン ●テオフィリン ●リチウム ●ヨード剤
放射性アイソトープ	●甲状腺機能亢進症の治療目的 ●一部の診断用アイソトープ
乳汁分泌を抑制する薬剤	●プロモクリプチン ●エルゴタミン (子宮収縮目的で産褥期に使うメチル・エルゴタミンは除く) ●ホルモン性経口避妊薬

【妊娠と薬情報センター】⁵⁾

最後に妊娠と薬情報センターについて説明します。

妊娠と薬情報センターは厚生労働省事業として、2005年10月に国立成育医療研究センター内に設置されました。妊娠中や妊娠を希望される女性で、妊娠・授乳中の薬物治療に関して不安を持つ方の相談に対応しています。

妊娠を希望する段階で薬剤について相談できるため、基礎疾患をもち、普段内服している薬剤に

不安を持つ方の相談にも対応することができます。

同意した相談者や登録調査への協力者を対象に、妊娠転帰や児の予後に関する調査を行い、それらの調査結果に基づいて妊娠中の薬剤使用に関する安全性のエビデンスを創出しています。

全国 47 都道府県の拠点病院に「妊娠と薬外来」が設置されています。岩手県では、岩手医科大学附属内丸メディカルセンターに「妊娠と薬外来」が設置されています。

2022 年度より、新システムが導入されインターネットの web 問診システムから申し込むことができるようになり、旧システムで行われていた紙媒体よりも相談しやすくなりました。申し込み後は、医師、薬剤師によるカウンセリングを受けることができます。

妊娠と薬情報センター ホームページ

<https://www.ncchd.go.jp/kusuri/>



参考文献

- 1) 厚生労働省 授乳・離乳の支援ガイド (2019 年改定版)
- 2) 母乳とくすりハンドブック 改訂 3 版
- 3) 妊娠と授乳 薬物治療コンサルテーション 改訂 3 版
- 4) 向精神薬と妊娠・授乳 改訂 2 版
- 5) 国立成育医療研究センター ホームページ

【おわりに】

授乳中の母親の薬物治療を考える上では母親と乳児の双方の健康確保が大切です。

そのためには、母親（相談者）とコミュニケーションをとり、しっかりとした信頼関係を築くことが重要です。その上で、最新のエビデンスに基づく情報により服薬指導を行い、母親が安心して育児が行えるような環境を整えていきたいものです。



コロナ禍の取り組み



気仙薬剤師会

善進堂薬局 長谷川 伸

2020年3月、気仙大船渡地域ではおそらく当薬局が一番早くコロナの影響を受けたと思います。

当時、未知の殺人ウイルスと言われたCOVID-19をいち早く警戒し、近隣の医療機関は直ちに処方日数を長期にし始めました。

「来月も来るはずの患者さんがこんなにも来ないなんて、」

と、売上、処方せん枚数を予測していた私は絶望的な気持ちになりました。当薬局は売上がコロナ前から30%減ってしまい、忙しく調剤をしていた頃がウソのように閑散とした日々が始まりました。この誰も薬局に来ない時間に耐えられず胃がキリキリしました。

どうにかして安全にお薬をお渡しするにはどうしたらよいのだろうか？

私は従業員全員で話し合い、ちょうどこの薬局の駐車場が通り抜けできる立地に目をつけました。

当時ニュースで、感染を防ぐためドライブスルーでPCR検査している記事をヒントに、薬局でもドライブスルー形式で対応すれば患者さんは来てくれるのではないかと考えました。

近隣の医療機関には0410対応、薬局でのお薬受け取りはドライブスルーで行う旨を説明しました。

そういった内容を患者さん向けに説明するイラストも作成し、医療機関に置かせていただきました。保健所にも説明し、コロナ禍限定という事でドライブスルー薬局は見事OKを頂きました。

宣伝を始めてからは毎日のように利用する患者さんがおられます。服薬指導が淡泊になってしまうのではないかと懸念しましたが、車越しの会話は意外とプライバシーに配慮できるためたくさん相談を受けております。

現在でもドライブスルーにて抗原検査キットを買いに来る方や、小さいお子様を連れてこられるママさんが「車のままお薬をもらえると助かる」、とご好評をいただいております。また、発熱外来

の処方せんは医療機関と協力しましてFAX処方せんとドライブスルーお渡しにしております。

今後もドライブスルーは継続していく考えです。

コロナ禍の取組としてもうひとつ大きな事は医師、看護師と協力したワクチン接種業務です。

外来診療を休んで早急にワクチンの接種をしていく必要がある、との医師の声で、私たち薬局にも何か協力できる事はないかと考えました。相談させていただいた結果、ワクチン接種会場での患者さんのお薬手帳のチェック業務とワクチンの充填業務をお手伝いさせていただく事になりました。

接種会場ではいつもの顔なじみの患者さんがほとんどでしたので、向こうからお薬の相談をされたり、「頑張ってるね」と声をかけられたりして嬉しかったです。副反応を心配する患者さんにはこちらから積極的に声をかけたりしました。

医師、看護師とも交流ができ、患者さんについての情報交換もそこで行われたりしたのでとても有意義な時間だったと思います。

もちろん、その間は薬局はガラガラです、。経営を守るために従業員には休業補償を出すから、と帰ってもらった事は何度もありました。

こんな大変な時に何も仕事を与えられない自分に悔しさを感じたり、黙ってステイホームを命じるのがとても辛かったです。

ようやくコロナ禍も収束が見えてきて、最近ではごく少数ですが、オンライン服薬指導とラインチャットで相談も始めております。

患者さんとの相談のチャンネルを複数確保しておく事は重要だと考えてます。

DX化の時代で今後薬局がどうなっていくのか注視しながら、地域のためになるような薬局を創り続けていきたいと考えております。

花巻市薬剤師会理事

フロンティア薬局石鳥谷店 田村 宏明

新型コロナウイルスによる影響が続く中、日本社会において本当に多くの事が変わりました。私の働く薬局でも新型コロナウイルス感染症対応の為、変わった点が多くあります。

まずは、薬局設備についてです。今ではどこでも当たり前の光景となってしまいましたが、薬局出入口には消毒の為、非接触型のアルコール噴霧器を常備し、接触感染を防ぎ、来局者が定期的に触る箇所やドアノブ等については定期的なアルコール消毒を行っております。待合室では複数個所の窓を開け、室内で空気が滞留しないようにしており、ウイルスにも対応した空気清浄機を常に稼働させております。来局者の座る椅子には一人一人を分けるように仕切りを設置しております。



患者と会話する空間についても天井から吊りし、開閉可能なカーテン型の仕切りを設置しております。患者と会話する際の飛沫感染を防止しております。新型コロナ感染症蔓延初期にはラップ等で手作りした飛沫感染防止の為の仕切りを使用しておりましたが、透明性が悪く、患者と薬剤師でお互いの表情が分かり難い、患者から薬が見えない等の悪影響が出た為、今後も感染症が続く事を考慮し、しっかりした設備として設置しました。カーテン型にする事で開閉が可能となり、薬の説明をする際や、直接顔を合わせて会話する必要のある患者と対応する際など、開閉がスムーズに出来る事で多くのメリットがあったと感じております。



新型コロナウイルス感染症が広がりを見せると共に、発熱患者や新型コロナ陽性患者へ直接対応する機会も増えてきました。私の勤める薬局では、近隣に土日も1日開いている病院がある為、日曜日には特に発熱患者が多く来ます。地域柄、普段は高齢の薬局利用者が多く、発熱患者と他の患者を待合室で同じ空間に留めると感染のリスクが高まってしまう。その為、発熱患者には申し訳ないのですが、車で来局された方については感染防止の為、車で待機してもらい、薬剤師が車まで行き、薬の説明を行っております。車以外で来局された方については薬局風除室内に天井設置型のカーテンで仕切りを作成できるようなスペースを確保しており、そこで待機してもらう事でゾーニングを行い、感染対策に努めております。

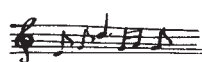
また、私の所属する花巻市薬剤師会ではコロナ禍の取り組みとしてワクチン接種事業に大きく関わっております。事業内容としてはワクチン接種会場での予診業務への参加です。実際にワクチン接種会場では、ワクチン接種者の使用薬や既往歴の確認、ワクチン接種についての質問等に対する対応を行っております。

使用薬の確認については血液凝固阻害薬について特に国からも注意して確認するように指示されており、確認はお薬手帳を元に行うのですが、ワクチン接種が始まった頃は、ワクチン接種会場でお薬手帳持参率が悪く、聞き取りで使用薬を確認する場面が多々あり、一人一人に多くに時間が掛かり大変な事が多くありました。その為、薬剤

師会から地域全体の薬局へ働き掛けを行い、薬局患者に対し、ワクチン接種時にお薬手帳を持参するように声掛けを行ってもらった事でお薬手帳持参率は高まりました。また、薬剤師会から働き掛けはそれだけではありません。血液凝固阻害薬について、お薬手帳を確認する際、一目で使用の有無が分かるように各薬局では記載してもらっており、1回目より、2回目、3回目とワクチン接種を行う毎に、よりスムーズな予診業務に繋がっております。

予診業務に参加していた際、「薬剤師さんが薬の確認をしてくれる事で、本当に助かる。私たちでは難しい薬の名前をお薬手帳から探すだけで、多くに時間がかかってしまい、大変だった」と、ワクチン接種会場のスタッフから頂いた言葉が私の心に強く残っております。普段とは違う場所、違う業務を行う中で頂いた言葉だったからでしょうか。薬局の薬剤師ではなく、一人の薬剤師として、人の役に立っていると実感できる本当にありがたい言葉でした。

今後もコロナ禍は続きそうです。ワクチン接種だけで無く、薬剤師として、多くの事に貢献して行きたいです。



話 題 の ひ ろ ば

保険薬局 匿名

「あなたの〇〇周年教えてください」というテーマ。さて何について書こうか。コロナ関連はもう避けたいのですが絡んできますよね・・・。

深掘り出来ないので数上げていきます。

ワンダーコアという腹筋器具があるのですがそれを使用し始めて12周年。腹筋バキバキかといえそうではない。それなりです・・・。

スノボーを割とまじめにやり始めて10周年。この年でグラトリ（グランドトリック）にはまっているおじさんです。

コロナ渦にオタクになって、その後オタ活をするようになってもうすぐ3周年（笑）。オタ活を初めて気づいたのですが大人になって（大分ですが）からでも楽しいし、精神的に良いですねこれ。皆様にお勧めします。

まじめなところだと、転職して現在の土地に引っ越して勤務するようになって5周年。薬局も開局5周年。早いなと感じます。半分くらいはコロナさんと共に過ごしてきました。今後も〇〇周年を迎えられるように皆様と生きていきたいです。



保険薬局 T.T

私の〇〇周年はお酒デビューして10周年です。

昔はお酒なんて苦くて気持ち悪くなる毒みたいなものと思っていましたが、今となっては私の生活に欠かせない百薬の長となっております。（最近の論文で飲酒での健康面のメリットないと発表されたみたいですが・・・）

お酒にはまったのは学生時代、新潟県で合宿を行った際に会った日本酒がきっかけでした。その後、米・麦・芋の焼酎にもはまり、就職してお金の余裕ができてからはワインやウイスキー・ラムなどにも手を出し始めました。

お酒のおかげで知り合いの輪も増え、年に1回集まって飲み会を行っています。30歳を超えて

以前よりもお酒が翌日に残ることも増えてきていますが、肝臓が頑張ってくれる限り今後も飲み続けていこうと思います。



保険薬局 匿名

読書が好きとは言えない私が、時代小説を読むようになったのはいつからだったかな～。

もちろん江戸時代に存在したいなどとは思わないが、私にとっての時代小説は現実逃避であり、ストレス解消なのです。

何人かの作家を読んでいるうちに強く惹かれる作家がいました。その作家とは「葉室麟」。小説を読み終えた後、作家の優しさ、あたたかさ、人間性を感じるのです。

生前、「歴史時代小説のいいところはモラルを書けることです」と語られたとの事。ここに惹きつけられるものがあるのかもしれません。

遅ればせながら「葉室麟」の小説に会って3年。私の3周年といってもいいかもしれませんネ。



病院診療所 匿名

合唱と出会って17周年となりました。飽きっぽく長続きしない性格の私ですが唯一長く続いており、小学4年生から大学4年生までは部活やサークルにて活動していました。中学生の時は東北大会にも出場し旅行気分で開催県へ出かけた思い出があります。高校生では定期演奏会や合宿等のイベントもあり勉強そっちのけで夢中になっていました。またメンバーも個性的で面白い人が多く毎日部活の時間が楽しみでした。大学生では一般のサークルに参加し様々な職業、年齢の方と知り合うことができ貴重な経験となりました。近年は団体には所属していませんので歌うより聞く機会の方が多くなっています。

テーマ：あなたの〇〇周年教えてください



コロナ渦となり歌うことははばかれるようになり
ました。またコンクールや演奏会等も制限が
設けられ以前のように開催出来ていないよう
です。1日も早く収束し自由に音楽が楽しめる日
が再び来ることを願っています。

次号の「話題のひろば」のテーマは、
『宝くじに当たったら?』です。
ご意見は県薬事務局へFAXかEメールで。

投稿について

*ご意見の掲載に当り記銘について下記項目
からお選び、原稿と一緒にお知らせくだ
さい。

(1) 記銘について

- | | |
|---------|---------|
| ①フルネームで | ②イニシャルで |
| ③匿名 | ④ペンネームで |

(2) 所属について

- | | |
|--------|--------|
| ①保険薬局 | ②病院診療所 |
| ③一般販売業 | ④卸売販売業 |
| ⑤MR | ⑥行政 |
| ⑦教育・研究 | ⑧その他 |

*誌面の関係で掲載できない場合のあること
をご了承ください。

温泉巡り

気仙薬剤師会 菅野 和規

新型コロナの影響で、旅行に行くことや遠出自体が最近めっきり減っています。私は学生時代から温泉に行くのが好きで、行った時には何度も温泉に入ったり、旅館の周りの散策をしたりなども楽しみにしていました。おそらく自由に行けるのはまだ先だと思いますが、いつか行ってみたいという願望を込めておけば行けるかもしれないので、皆さんに紹介も含めて行ってみたい温泉3選を勝手にお伝えしたいと思います。岩手は含めておりませんのでご了承ください。

■ 銀山温泉（山形県）

青森の酸ヶ湯温泉や福島の大崎温泉など、東北の温泉は結構行っていると思っていましたが、山形の温泉にはなかなか縁がありませんでした。その中でも銀山温泉は、夜に雪の中に現れる旅館の光がなんとも言えない幻想的な雰囲気を出しています。もちろん昼は大正時代を思わせる建物が目に入り、気持ちが安らぐ感じです。一番の目的は雪の積もっている中での露天風呂です。夏も暑い中に行くのもいいのですが、東北の寒い冬の中で雪が積もっているところで露天風呂に入るのが、この時期にしか味わえないこの上ない楽しみです。静かな中でゆったりと温泉につかる、日ごろの疲れが取れる瞬間です。雪の中に山形に行くのは大変かもしれませんが、ぜひ冬に一度でも行ってみたいものです。

■ 四万温泉（群馬県）

こちらはノスタルジックという言葉が当てはまる、懐かしさや時代を感じられる温泉で、冬だけでなく夏も楽しめる場所です。旅館自体が昔を感じさせる建物が多く、また建物の外観だけでなく古い電話機や照明、椅子などの歴史を感じられるものが多く残っていて、立ち止まっていると現代のあつという間に過ぎる時間の流れや忙しさを忘れさせてくれる空間になっています。もちろん温泉も魅力的で、足湯やきれいな露天風呂もあったり、西洋文化を取り入れ始めた造りのモダンな温泉が残っていたりと、いろんな旅館に泊まっても楽しめそうです。中には、某アニメのモチーフになった旅館もあるとか。

■ 指宿温泉（鹿児島県）

九州ですとなかなか行けないところではありますが、行きたいのが指宿温泉です。海から見える風景は岩手沿岸から見えるのと一緒に思えますが、島々が連なっているところを露天風呂から見るのが壮大な風景ですし、砂浜を見るのがリアス海岸近辺に住んでいる自分としては新鮮な感じです。またその海岸線はこちらとは違い、防潮堤が少ないので、自然の景観がより感じられるのではないのでしょうか。何とんでもここは砂風呂が有名なので、一度は行ってみたいです。お湯につかるのとは別で、独特の気持ちよさなのかと思いながら想像しております。

もっと他にも行きたい温泉はたくさんあります。有名どころだと草津温泉や別府温泉など東北を出て行ってみたいところがありますし、もちろん県内にもまだ行っていないところがあるので、早くコロナが収束してあちこち自由に旅行してみたいものです。

◇ ◇
今回は釜石薬剤師会の 宇部 太郎 先生にお願いしました。



職場紹介



医療法人社団愛生会 昭和病院（一関薬剤師会）

【病院紹介】

当院は岩手県最南部、一関市にある 54 床の 2 次救急輪番病院です。2017 年 7 月からは地域包括ケア病床を導入し、より地域に密着した優しい医療を提供すべく、職員一同頑張っております。また、県南の民間病院として唯一のペインクリニック内科を標榜しており、種々の疼痛に対する治療として痛みの外来を行っています。

【病院理念】

地域に密着した、病める人々の気持ちを理解できるやさしい医療を提供します。

【薬剤部の概要】

薬剤部は、セントラル業務を行う上で必要な最新情報を常に入手するよう心掛け、適正かつ安全な医薬品提供を実施しています。また、病棟業務や外来診療への関与も積極的に行い、医療の質向上と医療安全を推進しています。地域医療の推進としては、保険薬局との連携を目的とした様々な活動に参加しております。そして、次世代を担う薬剤師の教育については、薬剤部内症例検討会の実施や学会参加等で指導にあたっております。以下に、特に力を入れている活動をご紹介します。

【電子カルテにおける持参薬と当院処方の一元管理】

持参薬鑑別だけでなく、持参薬と当院処方の電子カルテによる一元管理を行っており、すべての職種が薬歴を参照することが可能です（図 1）。

【地域フォーミュラリーを見据えた代替薬提案】

持参薬終了後の代替薬提案に注力しています。図 2 は、医薬品採用の 1 増 1 減ルールのため薬事委員会の資料として提示したものです。各薬効群においてこのような資料の作成を始めております。

今後は、自院の使用量だけでなく他医療機関・保険薬局等と連携して地域の使用実態を勘案した代替薬提案、つまり地域フォーミュラリーの策定を見据えております。

処方開始日	薬剤名称	単位	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25
2018/11/18	ドペミン 41% (50g/本)	錠	6	6	6	6	6	6	6	4	
2018/11/18	フスタゾール 10mg	錠									
2018/11/18	カルボシステイン錠 250mg 「ガワイ」	錠									
2018/11/18	ツムラ漢方薬エキス錠 (医服用)	錠									
2018/11/18	アズノール 0.33%	錠									
2018/11/17	アスピリン錠 20	錠	3	3	3						
2018/11/17	セロビネ配合錠	錠	3	3	3						
2018/11/17	ベボスチンベリル錠 10mg 「タナベ」	錠	2	2	2						
2018/11/17	ミヤBM錠	錠	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2018/11/17	重カマ 「ヨシダ」	錠	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2018/11/17	アマンタジン塩酸塩錠 50mg 「日医工」	錠	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2018/11/17	ニフェジピン錠 20mg 「日医工」	錠	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2018/11/17	バファリン配合錠 A81	錠	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2018/11/17	プロプラノロール塩酸塩錠 10mg 「日医工」	錠	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2018/11/17	エラスチン錠 1800	錠	2	2	2	2	2	2	2	2	2
2018/11/17	センソシード錠 12mg 「ガワイ」	錠	2	2	2	2	2	2	2	2	2

図 1. 電子カルテの薬歴画面

先発医薬品	適応	当院採用医薬品	同等量	薬価	換算量 (90)	意向
ACE-I						
タナトリル	高血圧症、糖尿病性腎症	-	5mg	18.6	-	
レニベース	高血圧症、慢性心不全	-	5mg	10.1	-	
カプトリル	高血圧症	-	37.5mg	5.9	-	
エースコール	高血圧症	-	※1	10.1~42.8	-	
コバシル	高血圧症	-	<2mg	21.2	-	
ロンゲス	高血圧症、慢性心不全	リシノプリル錠10mg	10mg	10.1	250	
ARB						
アジルバ	高血圧症	アジルバ錠40mg	<20mg	140.2	151.5	
アバプロ、イルベタン	高血圧症	-	100mg	16.0	-	
オルメテック	高血圧症	オルメサルタンOD錠20mg	20mg	26.0	640	
プロブレス	高血圧症、慢性心不全、腎臓病、糖尿病性腎症	-	8mg	39.7	-	
ミカルディス	高血圧症	テルミサルタンOD錠40mg	40mg	11.1	512.5	
ディオバン	高血圧症	ミカルディス錠20mg	20mg	39.9	0	
ニューロタン	高血圧症	バルサルタンOD錠80mg	80mg	18.2	491	◎
	高血圧症、糖尿病性腎症	ロサルタンカルウム錠50mg	50mg	26.1	169	

図 2. 降圧作用から見た RAS 阻害薬の同等量換算表

〒021-0885 一関市田村町 6-3

TEL:0191-23-2020 FAX:0191-21-3108

よこさわ薬局（気仙薬剤師会）

こんにちは、よこさわ薬局です。薬局は現在、主要地方道大船渡綾里三陸線、大船渡高校入口バス停そばにある小さな店舗ですので、すぐお分かりになると思います。近くには内科、耳鼻科、皮膚科があります。

以前は国道45号線沿い合同庁舎前バス停そばでした。皆様の「くすり箱」として、お役に立てればとの思いで昭和62年にスタートしましたが、「院外処方」の動きが本格的になり、当薬局も院外処方せん受け入れをするため現在の地に平成15年に移転し再スタートしました。

・近年高齢化が進み一包化が多くなってきました。

患者様、又、介護する方々がより服用しやすく、解りやすく、そして、ご希望を伺いながら一包化をする事が大切かなと思いながら進めています。

・4月に始まった「リフィル処方箋」について

「リフィル処方箋」を受ける事が多くなってきました。

紛失しないか、期日内に来局頂けるか心配です。期日近くなった時は電話連絡をします。

アナログなのですが、患者様の氏名・生年月日・調剤日・次回調剤日・処方箋の使用期間・2回目・3回目調剤日を記帳します。それだけではすぐチェックし難いので、カレンダーに次回調剤日に患者様氏名を記入し一目で解るようにしていますが、もちろんもっと合理的な方法があると思います。もし、このようにしてチェックしていますという実例がありましたら教えて頂けたらうれしく思います。

リフィル処方箋を持って来られた際には服薬状況・副作用・服用中の体調等を伺いチェックしますが、薬剤師としての責任を感じる所です。

なかなか収まらない新型コロナウイルス流行下、換気・消毒・感染防止しながらも、地域の皆様のお役に立てるよう職員一同頑張っています。



〒022-0004 大船渡市猪川町字中井沢 7-2
TEL:0192-27-3536 FAX:0192-27-8751



会員の動き



会員の動き（令和4年9月1日～令和4年10月31日）

☆県薬（および日薬・地域薬剤師会）への入会・退会・変更について

県薬の薬剤師向けウェブページに Excel 書式・手書き用 p d f 書式を掲載しております。

Excel ファイルに入力後（またはダウンロード後にファイルを開いて入力後）、名前を付けて保存し、メール添付送信、または印刷したものを FAX 送信、郵送してください。

Excel 書式 p d f 書式を使用出来ない場合には書式を郵送いたしますので、事務局までご連絡ください。登録事項に変更が生じた場合、お早めに書類を提出していただくようお願いいたします。

（9月 入会）

地域	業 態	氏 名 勤 務 先	〒	勤 務 先 住 所	勤務先 TEL	勤務先 FAX	出 身 校 卒業年度
盛岡	4	竹 田 容 子 柏台薬局	028-7303	八幡平市柏台2丁目42-2	0195-71-1001	0195-71-1003	東北薬大 S56
一関	4	橋 辰 幸 そうごう薬局一関店	021-0002	一関市中里神明44-2	0191-34-5261	0191-34-5262	昭和薬大 H28

（10月 入会）

地域	業 態	氏 名 勤 務 先	〒	勤 務 先 住 所	勤務先 TEL	勤務先 FAX	出 身 校 卒業年度
盛岡	7	高 橋 美 羽 川久保病院	020-0835	盛岡市津志田26地割30-1	019-635-1305		東北医薬 R3
盛岡	1	小笠原 英 しぶたみ薬局	028-4134	盛岡市下田字陣場42-16	019-656-7015	019-656-7016	岩手医科 H29
盛岡	6	稲 森 佳代子 茶畑薬局	020-0822	盛岡市茶畑2-6-14	019-622-1800	019-622-1801	東北薬大 H6
盛岡	4	熊 谷 絵 美 調剤薬局ツルハドラッグ盛岡大館店	020-0147	盛岡市大館町18-3	019-643-2681	019-643-2681	東北薬大 H16
盛岡	賛	ルナ調剤株式会社	222-0033	横浜市港北区新横浜2-15-12 共立新横浜ビル5階	045-595-9153	045-595-9154	
盛岡	6	工 藤 賢 一 つくし薬局沼宮内駅前店	028-4303	岩手郡岩手町大字江刈内第7地割10番3	0195-68-7071	0195-68-7072	東北薬大 S57
北上	6	阿 部 佳 祐 さわやか薬局	024-0043	北上市立花10地割48-7	0197-65-5000		岩手医科 H28
奥州	4	細 川 剛 志 リリィ薬局水沢店	023-0841	奥州市水沢真城字杉山下70-3	0197-47-4391	0197-47-4392	東北医薬 H30
一関	4	岡 林 裕 孝 千厩調剤薬局	029-0803	一関市千厩町千厩字草井沢43-1	0191-51-1666	0191-51-1660	北医療大 H20
気仙	賛	有限会社森の前薬局	029-2205	陸前高田市高田町字鳴石89-25	0192-55-6200	0192-55-6100	
二戸	4	岩 野 瑛 アイン薬局浄法寺店	028-6852	二戸市浄法寺町樋田162-1	0195-39-1221	0195-39-1223	東薬大 H29

（9月 変更）

地域	氏 名	変更事項	変 更 内 容
盛岡	金 野 琴 子	勤務先	〒020-0836 盛岡市津志田西2丁目2-15 調剤薬局ツルハドラッグ盛岡津志田西店 電話 019-639-4268 FAX 019-639-4268
盛岡	羽 田 周 平	勤務先	〒028-4303 岩手郡岩手町江刈内第10地割字三本松45-8 そうごう薬局岩手町店 電話 0195-6291-6061 FAX 0195-62-6062
盛岡	永 澤 さかえ	勤務先および 地域	〒020-0632 滝沢市牧野林101-2 ドレミ薬局 電話 019-699-1234 FAX 019-687-6900 旧地域：奥州

地域	氏 名	変更事項	変 更 内 容	
北上	蓬 田 睦 史	勤務先	無従事	
北上	菊 池 喜 裕	勤務先および地域	〒024-8507 北上市村崎野17-10 岩手県立中部病院 電話 0197-71-1511 FAX 0197-71-1414	旧地域 ： 一関
宮古	鈴 木 昌 代	勤務先	〒027-0074 宮古市保久田3-9 あすなろ薬局 電話 0193-65-6050 FAX 0193-65-6051	

(10月 変更)

地域	氏 名	変更事項	変 更 内 容	
盛岡	矢 島 潤 一	勤務先	〒020-0055 盛岡市繁字尾入野64-9 そうごう薬局盛岡つなぎ店 電話 019-691-7251 FAX 019-689-3752	
花巻	熊 谷 匠	勤務先	〒028-3203 花巻市大迫町大迫13-20-1 岩手県立中央病院附属 大迫地域診療センター 電話 0198-48-2211	
奥州	早 坂 真 優	勤務先および地域	〒029-4208 奥州市前沢二十人町47番 つくし薬局前沢店 電話 0197-41-3663 FAX 0197-41-3662	旧地域 ： 一関
気仙	若 林 宣 彦	勤務先および地域	無従事	旧地域 ： 花巻
釜石	上 林 麻 美	勤務先	〒026-0055 釜石市甲子町第10地割159番地209 おおぞら薬局松倉店 電話 0193-27-7680 FAX 0193-27-7681	

9月退会

(盛岡) 石川 毅征、大山 雄詩 (北上) 根子 明弓 (気仙) 小川 悠貴
(宮古) 追出町 明子

10月退会

(盛岡) 吉岡 裕子、鈴木 いづみ、山下 ひろみ (一関) 松岡 宏江、梅森 康裕
(宮古) 中田 州彦 (二戸) 木村 琢也

会 員 数

	正 会 員	賛助会員	合 計
令和4年10月31日現在	1,717名	75名	1,792名
令和3年10月31日現在	1,718名	74名	1,792名



保険薬局の動き



新たに指定された保険薬局

地域名	指定年月日	薬局名称	開設者名	〒	住所	TEL
盛岡	R4.10.01	調剤薬局ツルハドラッグ 盛岡青山店	八幡 政浩	020-0121	盛岡市月が丘2-1-35	019-641-8268
盛岡	R4.10.01	クスリのアオキ紫波 桜町薬局	青木 宏憲	028-3307	紫波町桜町字田頭95	019-681-2727
盛岡	R4.10.01	むかいなかの調剤薬局	細田 稔男	020-0851	盛岡市向中野2-54-12	019-681-1061
盛岡	R4.10.16	調剤薬局ツルハドラッグ 三本柳店	八幡 政浩	020-0831	盛岡市三本柳5-28-2	019-614-3080
花巻	R4.11.01	調剤薬局ツルハドラッグ 花巻高木店	八幡 政浩	025-006	花巻市高木16-68-6	0198-29-4024



求人情報



受付 年月日	種別	求人者名・施設名	就労場所	連絡先 ご担当者	区分	勤務時間		休日
						平日	土曜日	
R4.10.17	病院	盛岡医療生活協同 組合 川久保病院	盛岡市津志田26- 30-1	019-635-1305 事務長 片方 直樹	常時	8:45～17:15	8:45～12:30	土曜、日曜、祝 日、年末年始
R4.11.9	病院	医療法人社団恵仁 会 三愛病院	盛岡市月が丘1丁 目29-15	019-641-6633 事務局長 宮崎 隆夫	常時	8:30～17:00 10:30～19:00 (時差勤務)	8:30～12:30	日曜、祝日、土 曜月3回
R4.11.9	病院	栃内病院	盛岡市肴町2-28	019-623-1316 事務部長 金野 靖	常時	8:30～17:00	8:30～12:30	日曜、祝日、他 (4 週6休シフト制)、夏 期休暇、年末年始
R4.11.9	保険薬局	シップヘルスケア ファーマシー東日 本株式会社 (リリイ薬局盛岡 北店)	盛岡市上堂2-4-11	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～18:00 (8時間程度) (水9:00～12:30)	9:00～12:30	日曜、祝日、他
R4.11.9	保険薬局	すこやか薬局	滝沢市大釜竹鼻163- 14	019-699-1721 安田 剛	常時	9:00～18:00	8:30～13:00	日曜、祝日、夏期 休暇、年末年始
R4.11.9	医薬品製 造販売業	シミックCMO(株) 西根工場	八幡平市大更第2 地割154-13	0195-76-5184 人事総務課課長 杉澤 勝洋	常時	8:30～17:30		土曜、日曜、祝 日、夏季休暇、 年末年始
R4.11.9	病院	南昌病院	紫波郡矢巾町広宮 沢1-2-181	019-697-5211 総務課主任 北館 和義	常時	8:30～17:15		土曜、日曜、祝 日、お盆、年末 年始
R4.11.9	病院	南昌病院	紫波郡矢巾町広宮 沢1-2-181	019-697-5211 総務課主任 北館 和義	パート	8:30～17:00 (6時間程度)		土曜、日曜、祝 日、他
R4.11.9	その他	社団医療法人法友会 介護保険福祉施設 白鷺	紫波郡紫波町犬渕 字南谷地108番地3	019-672-1220 事務	パート	8:30～17:10 (平日3日～ 勤務可能)		土曜、日曜、祝日、 年末年始 (施設内会議日 毎週 月、水曜は出勤必須)
R4.11.9	保険薬局	パール薬局	花巻市西大通り二 丁目22-17	0198-22-3517 氏家 道子	常時	8:30～18:30 (木8:30～13:00)	8:30～13:00	日曜、祝日、他

受付 年月日	種別	求人者名・施設名	就労場所	連絡先	区分	勤務時間		休日
				ご担当者		平日	土曜日	
R4.11.9	病院	遠野はやちねホスピタル	遠野市青笹町中沢5地割5番地	0198-62-2026 事務長 宮澤 秀紀	常時	8:30～17:15		土曜、日曜、祝日、他、年末年始、開院記念日
R4.11.9	保険薬局	サンケア薬局県立中部病院前店	北上市村崎野17地割167-1	019-601-9134 工藤 紀久雄	常時	8:30～18:00	8:30～13:00	日曜、祝日、他
R4.11.9	保険薬局	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社（リリイ薬局北上店）	北上市飯豊20地割123-1	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～18:00 (8時間程度) (水9:00～12:30)	9:00～12:30	日曜、祝日、他
R4.11.9	保険薬局	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社（リリイ薬局水沢店）	奥州市水沢真城字杉山下70-3	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～19:00 (8時間程度)	9:00～13:00	木曜、日曜、祝日
R4.11.9	病院	医療法人博愛会一関病院	一関市大手町3-36	0191-23-2050 千田 訓裕	常時	8:30～17:00	8:30～12:00	祝日、第1.3.5土曜、他
R4.11.9	保険薬局	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社（千厩調剤薬局）	一関市千厩町千厩字草井沢43-1	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～18:00 (8時間程度)	9:00～12:00	日曜、祝日、他
R4.11.9	保険薬局	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社（リリイ薬局藤沢店）	一関市藤沢町藤沢字町裏180-2	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～18:30 (8時間程度)	9:00～13:00	日曜、祝日、他
R4.11.9	保険薬局	シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社（つばき薬局）	大船渡市盛町字内ノ目3-17	090-5049-4893 武田 彩	常時	9:00～18:30 (8時間程度)	9:00～12:00	日曜、祝日、他
R4.11.9	保険薬局	(株)ライブリー（りあす薬局）	大船渡市立根町字中野40-6	019-654-7100 総務本部 高橋・佐々木	常時	9:00～19:00 (水9:00～15:00)		土曜、日曜、祝日、夏季・冬季休暇、特別休暇
R4.11.9	保険薬局	健康堂薬局駅前店 健康同薬局小山田店 健康同薬局栄町店 ※いずれかに勤務	宮古市栄町2-4 宮古市小山田2-7-70 宮古市栄町1-62	0193-62-3311 城内 裕子	常時	9:00～17:30	9:00～13:00	日曜、祝日
R4.11.9	保険薬局	有限会社 ミドリ薬局	宮古市実田二丁目5-9	0193-62-0012 取締役 安見 一幸	常時	8:30～18:00 (木8:30～16:00)	8:30～12:30	日曜、祝日、他

■岩手県薬剤師会における【薬剤師無料職業紹介所】は、令和4年3月末日をもって終了いたしました。今後は求人情報のみの掲載とさせていただきますので、求職ご希望の方は、求人先へ直接ご連絡お願いいたします。
なお、求人情報の掲載をご希望の方は、岩手県薬剤師会事務局までご連絡ください。

令和4年医師・歯科医師・薬剤師の届出について

**本年は、2年に1度の届出年です。
届出は、令和5年1月16日（月）までにお近くの保健所へ**

日本国内に居住する医師・歯科医師・薬剤師の方は、2年に1度、12月31日現在における住所地、従業地、従事している業務の種別等、医師法、歯科医師法、薬剤師法で規定されている事項について、届け出ることが義務付けられています。

本年はその届出年に当たりますので、所定の届出票に記入の上、令和5年1月16日（月）までに、原則として住所地の保健所まで提出してください。

複数の従事先がある場合には、1枚の届出票に主たる従事先及び従たる従事先を記入して提出願います。12月31日現在就労していない場合であっても、届出票の提出漏れのないようにお願いいたします。

この届出を活用し、公的統計である「医師・歯科医師・薬剤師統計」の集計・公表を行い、その集計結果は今後の厚生労働行政の大切な基礎資料となります

医療機関に勤務している方は、今回の調査から、インターネットによるオンライン届出が可能となりました。次回以降の入力が簡便になるので、積極的に活用してください。

届出票は、保健所から届出義務者の住所に送付、又は勤務先等を通じて届出義務者に配布されますが、厚生労働省ホームページからダウンロードすることも可能です。

【厚生労働省ホームページ】

「医師・歯科医師・薬剤師の皆さまに届出のお願い」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/iryujishisha-todokede-sys.html

また、2年ごとに届出を行わないと「医師等資格確認検索システム」及び「薬剤師資格確認検索システム」に氏名等が掲載されません。

（医師・歯科医師 https://licenseif.mhlw.go.jp/search_isei/）

（薬剤師 https://licenseif.mhlw.go.jp/search_iyaku/）

【お問合せ先はこちら】

保健所名称	所管市町村	所在地	電話番号
盛岡市保健所	盛岡市	盛岡市神明町 3-29	019-603-8301
県央保健所	八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、滝沢市、紫波町、矢巾町	盛岡市内丸 11-1	019-629-6564
中部保健所	花巻市、北上市、遠野市、西和賀町	花巻市花城町 1-41	0198-22-2331
奥州保健所	奥州市、金ケ崎町	奥州市水沢大手町 5-5	0197-22-2861
一関保健所	一関市、平泉町	一関市竹山町 7-5	0191-26-1415
大船渡保健所	大船渡市、陸前高田市、住田町	大船渡市猪川町字前田 6-1	0192-27-9913
釜石保健所	釜石市、大槌町	釜石市新町 6-50	0193-25-2702
宮古保健所	宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村	宮古市五月町 1-20	0193-64-2218
久慈保健所	久慈市、普代村、野田村、洋野町	久慈市八日町 1-1	0194-53-4987
二戸保健所	二戸市、軽米町、九戸村、一戸町	二戸市石切所字荷渡 6-3	0195-23-9206

編集後記

10月30日、ニューウイングにて岩手県薬剤師会創立110周年記念式典・祝賀会が行われました。(間違えてグランドホテルにいった方がいたとかいないとか)

たくさんの方にご参加頂いた中、現役の財務大臣にご臨席いただくとあって、開場前から警備の目があるものがすごく光っていました。ステージでの祝辞披露中も、常に2人のSPが仁王立ち。緊張感が伝わりました。

式典・祝賀会は盛会のうちに終了、和服姿で参加している方もいて華やかでした。

私も今度は和装して出てみようかな・・・。

(編集委員 高野 浩史)

・ ・ ・ ・ ・ お知らせ ・ ・ ・ ・ ・

(一社) 岩手県薬剤師会ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

「会員のページ」ユーザー名 iwayaku

パスワード ipa2210

「イーハトーブ」は、会員相互の意見や情報の交換の場です。

会員の皆様からの投稿・意見・要望をお待ちしております。

投稿・意見・要望あて先 県薬事務局 TEL 019-622-2467 FAX 019-653-2273

e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

(アイ・ピー・エー・イチ・エイチ・イー・エー・ディー)

薬剤師会館休館のお知らせ

年末年始につき次の期間は岩手県薬剤師会館を閉館いたします。

令和4年12月29日(木)から令和5年1月3日(火)まで

表紙の写真

10月30日(日)ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで岩手県薬剤師会創立110周年記念式典・祝賀会が行われました。新型コロナウイルス感染防止のためテーブルには透明の仕切りがあったりと制約はありましたが、無事に終了できました。

詳細については、イーハトーブをご覧ください。

(編集委員 川目 聖子)

編 集	担当副会長	金澤貴子
	担当理事	高林江美、川目聖子、高橋めぐみ、高橋さくら、佐藤明美
	編集委員	川目聖子、高野浩史、安倍 奨、佐々木拓弥
	地域薬剤師会編集委員	高野浩史(盛岡)、高橋めぐみ(花巻)、腰山裕美(北上)、 千葉千香子(奥州)、村上達郎(一関)、金野良則(気仙)、 柵山敬司(釜石)、高濱志保(宮古)、新渕純司(久慈)、金澤 悟(二戸)

イーハトーブ～岩手県薬剤師会誌～ 第94号

第94号(奇数月1回末日発行)

令和4年11月29日 印刷

令和4年11月30日 発行

発行者 一般社団法人 岩手県薬剤師会

会長 畑澤博巳

発行所 一般社団法人 岩手県薬剤師会

〒020-0876 盛岡市馬場町3番12号

TEL (019) 622-2467 FAX (019) 653-2273

e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp

印刷所 杜陵高速印刷株式会社

〒020-0811 盛岡市川目町23番2号

TEL (019) 651-2110 FAX (019) 654-1084

保障が充実。 なのに、ムダがない アフラックの医療保険。



ライフステージの変化に合わせて、その時々で必要な保障を変えられるため、ムダなく最適な保障を備えていただけます。

特長
1

基本保障

三大疾病^(※1)による長期入院は
日数無制限で保障。短期入院^(※2)でも
一律10日分の入院給付金を、
日帰り手術でも、手術給付金に加え、
通院給付金をお受けいただけます。

(※1)三大疾病とは、がん(悪性新生物)・心疾患・脳血管疾患を指します。(※2)日帰り入院を含む10日以内の入院の場合

特長
2

選べる特約

三大疾病で手術または入院をしたとき^(※3)に
一時金をお受けいただけます。また、糖尿病の
合併症などの特定生活習慣病^(※4)にも
手厚く備えることができます。

(※3)がん(悪性新生物)の場合は、診断確定されたときを含みます。(※4)特定生活習慣病とは、肝硬変、慢性膵炎、慢性腎不全、糖尿病の合併症を指します。

特長
3

選べるプラン

所定の条件を
満たした場合、
3年に1度「健康祝金」を
お受けいただけます。

※「健康祝金ありプラン」に「三大疾病一時金特約」と「特定生活習慣病保障特約」を付加した場合の特長

〈医療保険 EVER Prime(健康祝金ありプラン)〉

入院給付金日額/三大疾病無制限入院給付金日額/通院給付金日額5,000円 外来手術増額特則付き 保険期間:終身

●契約年齢:0歳~満85歳まで●

※ご契約内容により異なります。

入院	疾病・災害 入院給付金	10日以内の場合 一律10日分	5万円	11日以上の場合 1日につき	5,000円
	三大疾病無制限 入院給付金	三大疾病で疾病・災害入院給付金の 支払限度日数を超える 入院をしたとき	1日につき	5,000円	
手術	手術給付金	外来手術 (特定手術を除く)	1回につき	5万円	終身
		入院手術 (特定手術を除く)	1回につき	5万円	
放射線治療	放射線治療 給付金	特定手術 がん(悪性新生物)に対する 開頭・開胸・開腹手術や心臓への開胸術など	1回につき	20万円	終身
放射線治療	放射線治療 給付金		1回につき	5万円	
通院	疾病・災害 通院給付金		1日につき	5,000円	
祝金	健康祝金 ^(※5)	所定の条件を満たした場合	3年ごとに	2.5万円	

月払保険料例【個別取扱】

左記プランの場合
入院給付金支払限度:60日型
保険料払込期間:終身 定額タイプ
三大疾病保険料払込免除特約付き

契約日 の 満年齢	男 性	女 性
20歳	2,670円	2,940円
30歳	3,365円	3,570円
40歳	4,480円	4,310円
50歳	7,150円	6,065円
60歳	12,160円	9,130円
70歳	18,590円	13,355円
80歳	24,640円	18,775円

⊕ ニーズに応じて付加できます。

三大疾病保険料払込免除特約 免除事由に該当したとき
以後の保険料はいただきません(保障は継続します)

(※5) 90歳となる年単位の契約応当日の翌日以後は、健康祝金のお支払いはありません。

※三大疾病保険料払込免除特約のがん(悪性新生物)の保障開始まで、3か月の待ち期間(保障されない期間)があります。

⊕
プラス

選べる特約 特約で三大疾病や生活習慣病への備えなど、保障を強化できます。

●女性特定手術特約 ●三大疾病一時金特約 ●特定生活習慣病保障特約 ●就労所得保障一時金特約 ●精神疾患保障一時金特約
●介護一時金特約 ●認知症介護一時金特約 ●ケガの特約 ●総合先進医療特約 ●入院一時金特約 ●終身特約

※健康状態によっては、記載の保険料と異なる保険料となる場合があります(保険料が割増となる場合があります)。お申込み後にアフラックから送付する書面をご確認ください。

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

2021年1月18日現在

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

ナカイ株式会社 盛岡支店

ナカイ 保険

検索

〒020-0025 盛岡市大沢川原3丁目8-40 パレスこずかた橋1F
TEL:019-652-3261(代) FAX:019-652-3275

フリーダイヤル(通話料無料)



0120-523-261

受付時間/9:00~18:00(土・日・祝除く)

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。

アフラック

盛岡支店

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス13F

当社保険に関するお問合わせ:各種お手続き コールセンター 0120-5555-95

P20172 AF ツール-2020-0348-2104018 11月11日

感染対策をしっかりとしましょう



®わんこきょうだい